

「令和3年度 久御山町 自治会の活性化戦略ビジョンの
提案のためのアンケート調査分析業務」報告書

令和3年12月

京都府立大学 京都地域未来創造センター

目次

1. 調査概要	2
(1) 調査目的	
(2) 調査対象	
(3) 調査期間	
(4) 調査方法	
(5) 調査内容	3
(6) 回収状況	
2. 調査結果(単純集計)	4
(1) 回答者の属性	
(2) 自治会への加入について	7
(3) 自治会に対する意識について	10
(4) 自治会への参加経験について	13
(5) 地域活動への参加状況等について	16
(6) 地域の情報の入手・発信手段について	19
(7) その他	21
3. 調査結果(クロス集計)	24
(1) 「年齢(問 1)のクロス集計の結果	
(2) 「居住地域(問 3)」のクロス集計の結果	32
(3) 「勤務(学業等)日数(問 4)」のクロス集計の結果	33
(4) 「世帯構成(問 5)」のクロス集計の結果	34
(5) 「住居の種類(問 6-1)」のクロス集計の結果	35
(6) 「住居の居住年数(問 6-2)」のクロス集計の結果	
(7) 「居住地域への愛着(問 22)」のクロス集計の結果	36
(8) 「地域への貢献意志の有無・程度(問 23)」のクロス集計の結果	37
(9) 「情報の入手手段(問 25)」のクロス集計の結果	38
4. まとめ	39
(1) 回答者の属性	
(2) 自治会への加入について	
(3) 自治会に対する意識について	40
(4) 自治会への参加経験について	
(5) 地域活動への参加状況等について	
(6) 地域の情報の入手・発信手段について	41
(7) その他	42
(8) 総括	

【別冊納品物一覧】

1. 「久御山町のこれからの地域コミュニティを考えるアンケート」原本
2. 「自治会活動の調査アンケート」原本

1. 調査概要

(1) 調査目的

久御山町では、自治会加入率が毎年微減し続ける中、高齢者の単身世帯や外国人労働者の増加、コロナ禍における社会情勢の変化もあり、自治会活動の低下による地域コミュニティの弱体化が懸念されている。

そこで、久御山町と京都府立大学は、令和3年度京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）において、自治会活動の活性化に向けて自治会の現状分析等を行い、これを「自治会の活性化戦略ビジョン」としてとりまとめることとしている。

本調査は、自治会に対する住民の考えを明確にするために実施したアンケートの結果をとりまとめ、ビジョン作成の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

久御山町に住民票を有する18歳以上(基準日：令和3年8月25日)の方の中から、住民基本台帳をもとに無作為に抽出した1,000人

(抽出した1,000人の男女別構成、年齢階層別構成、小学校区別構成が、実際の久御山町の18歳以上人口の各構成比率と誤差率5%以内であることを検証した上で、アンケートの対象者とした。)

(3) 調査期間

令和3年5月17日(月)～令和3年12月28日(火)

アンケート発送日 令和3年8月31日(火)

アンケート回収締切日 令和3年9月30日(木)

(4) 調査方法

アンケート用紙を郵送にて配布し、回収はアンケートに同封した返信用封筒にて返送してもらうか、QRコードを使ったWEBアンケートを活用した。WEBアンケートに回答頂いた場合は、アンケートの郵送は不要。

(5)調査内容

下表のとおり

項目	質問内容
回答者の属性	問 1.年齢 問 2.性別 問 3.居住地域 問 4.勤務(学業等)日数 問 5.世帯構成 問 6.住居の種類と居住年数
自治会への加入について	問 7.世帯の自治会への加入状況 問 8.自治会に加入していない理由 問 9.自治会を脱会した理由 問 10.自治会加入促進のためのリーフレット等の有用性 問 11.加入促進のためのリーフレット等の記載を希望する内容 問 12.どのような自治会であれば加入したいか 問 13.自治会に加入している理由
自治会に対する意識について	問 14.自治会への満足度 問 15.自治会に対して満足している点 問 16.自治会に対して不満を感じている点 問 17.不満の解消方法
自治会への参加経験について	問 18.主に自治会の仕事に参加しているのは誰か 問 19.世帯員の自治会役員経験の有無 問 20.自治会役員を務めて感じた点 問 21.世帯に自治会役員を務めた人のいない理由
地域活動への参加状況等について	問 22.居住地域への愛着 問 23.地域への貢献意志の有無・程度 問 24.地域活動への参加状況
地域の情報の入手・発信手段について	問 25.役場のお知らせなどの情報の入手手段 問 26.自治会についてデジタル化・オンライン化を望む内容 問 27.自治会や回覧板の電子化についての考え
その他	問 28.地域での困りごと、解決すべき問題について 問 29.自治会への考え

(6)回収状況

下表のとおり

	郵送による 有効回収数	WEBによる 有効回収数	有効回収数 合計	有効回収率
1,000 件	281 件	89 件	370 件	37.0%

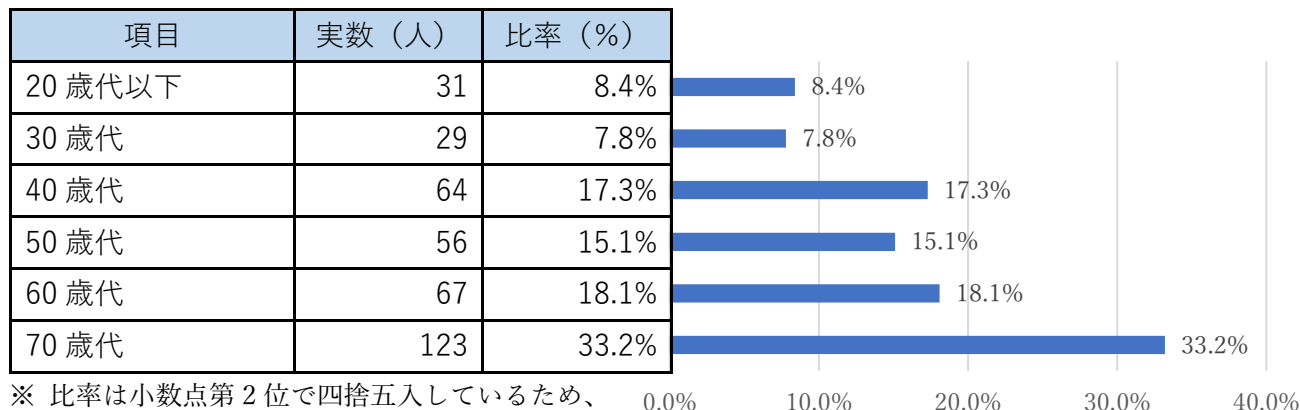
- 郵送による回収数は実際には 290 件あったが、回答票の大部分が白紙であったり、判断不能な矛盾回答があったりした回収票が 9 件あったため、それらが無効回収票とした。

2. 調査結果(単純集計)

(1) 回答者の属性

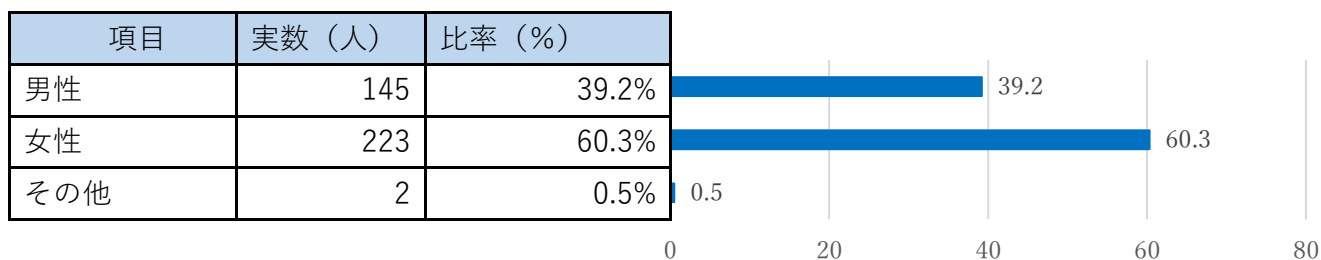
① 年齢(問 1)

- ・年代別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・全体の約半分が 60 歳代以上の回答となっている。



② 性別(問 2)

- ・男性、女性の回答者数及び比率は下表のとおりであった。対象者の男性と女性の比がほぼ人口比と同じだったので、女性の回答者比率の方が高かったことになる。



③居住地域(問3)

・居住地域別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。

項目	実数 (人)	比率 (%)
大橋辺	11	3.0%
北川顔	3	0.8%
藤和田	8	2.2%
島田	14	3.8%
坊之池	5	1.4%
中島	1	0.3%
西一口	3	0.8%
東一口	15	4.1%
相島	12	3.2%
森	4	1.1%
野村	11	3.0%
佐山	80	21.6%
林	62	16.8%
佐古	12	3.2%
市田	26	7.0%
田井	19	5.1%
下津屋	23	6.2%
栄	61	16.5%
合計	370	100.0%

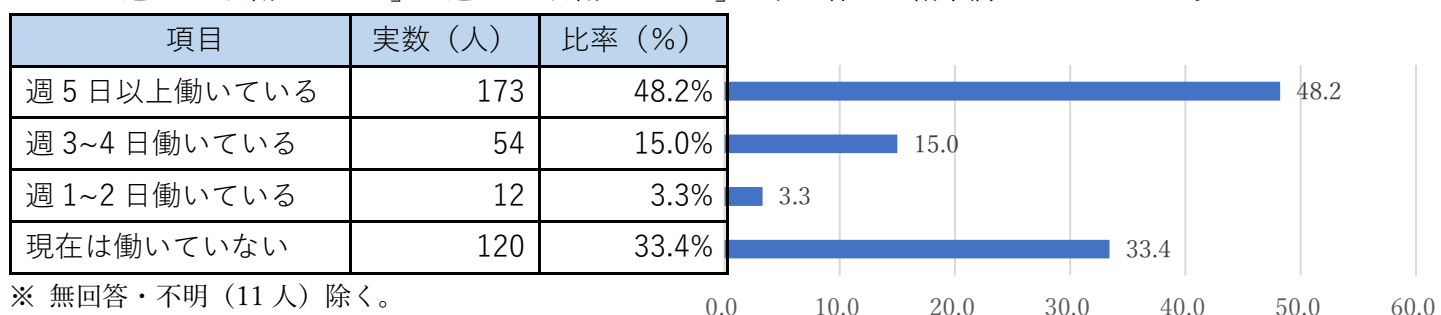
※ 回答者の地区別構成比は小数点第2位で四捨五入しているため、合計しても100%にならない。

④勤務(学業等)日数(問4)

・勤務(学業等)日数別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。

・「週5日以上働いている」が全体の約半分と最も高く、「現在は働いていない」が約3割と次に高くなっている。

・「週1~2日働いている」「週3~4日働いている」は、全体の2割未満に止まっている。

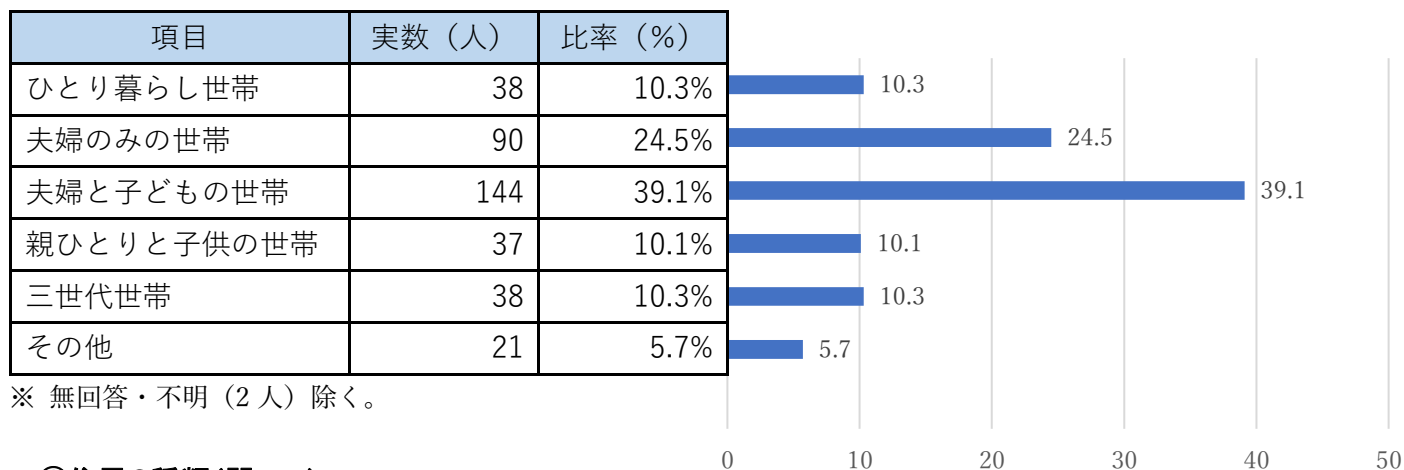


※ 無回答・不明(11人)除く。

※ 比率は小数点第2位で四捨五入しているため、合計しても100%にならない。

⑤世帯構成(問5)

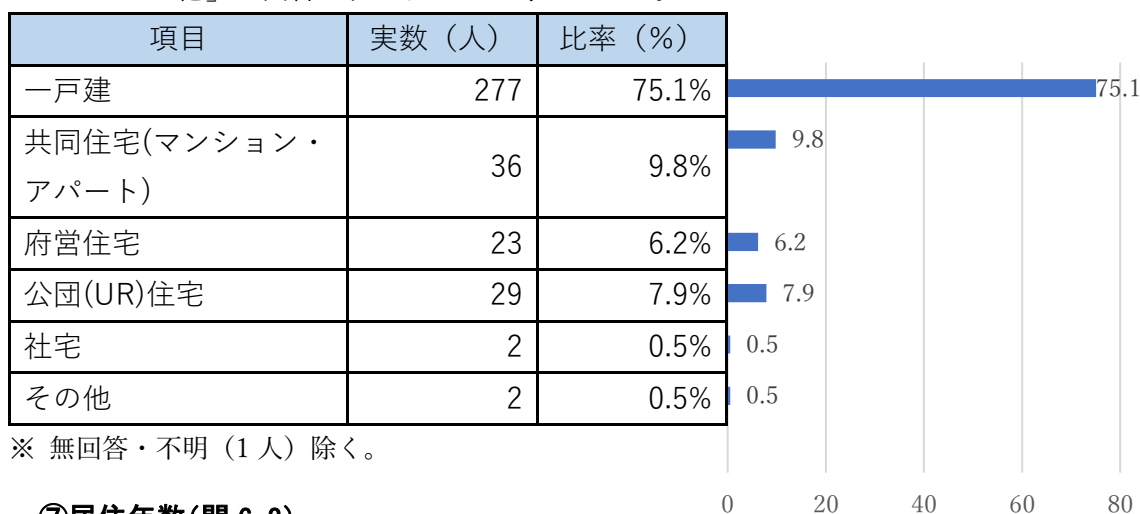
- ・世帯構成別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「夫婦と子どもの世帯」が39.1%と最も多く、「夫婦のみの世帯」が約24.5%と次に多くなっている。「三世帯世帯」が10.3%ある一方、「一人暮らし世帯」(10.3%)や「親一人と子供の世帯」(10.3%)など一般的には自治会活動に参加しづらいと思われる世帯が約20%ある。
- ・「その他」の回答は、4世代世帯が〇等となっている。



※ 無回答・不明(2人)除く。

⑥住居の種類(問6-1)

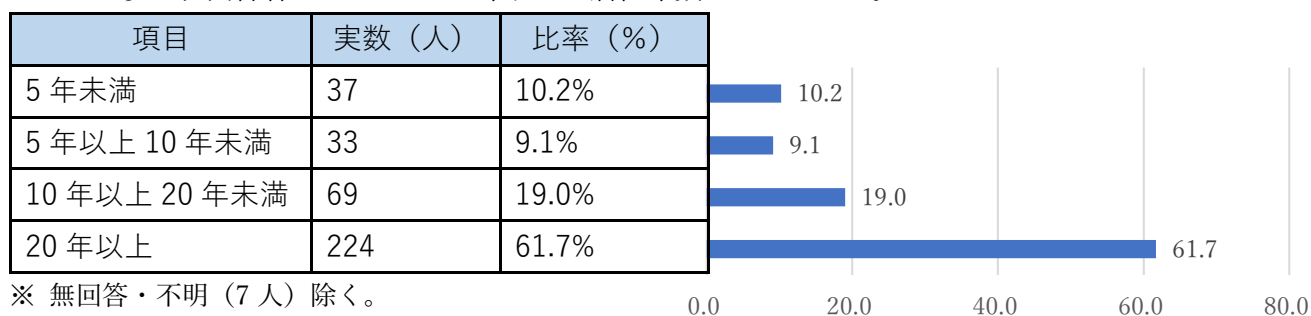
- ・住居の種類別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「一戸建」が75.1%と最も多く、「共同住宅(マンション・アパート)」が9.8%と次に多くなっている。また、「府営住宅」「公団(UＲ)住宅」など公的住宅も併せて14.1%ある。
- ・「その他」の回答は、いずれもお寺であった。



※ 無回答・不明(1人)除く。

⑦居住年数(問6-2)

- ・居住年数別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「20年以上久御山町に住んでいる」が61.7%と最も多く、「10年以上20年未満」が19%と次に多く、回答者の80.7%は10年以上の居住年数となっている。

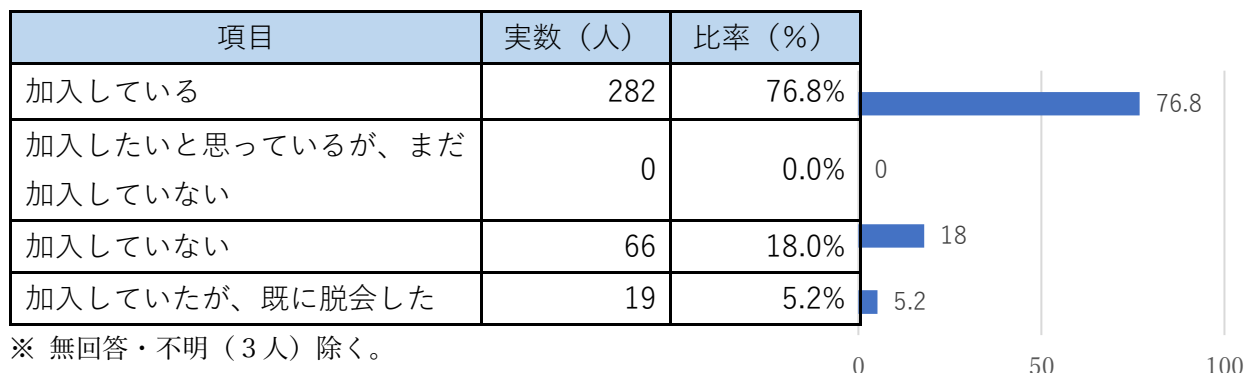


※ 無回答・不明(7人)除く。

(2) 自治会への加入について

① 世帯の自治会への加入状況(問 7)

- ・自治会への加入状況別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「加入している」が76.8%に対して、「加入していない」「加入していたがすでに脱会した」が合わせて23.2%となっている。

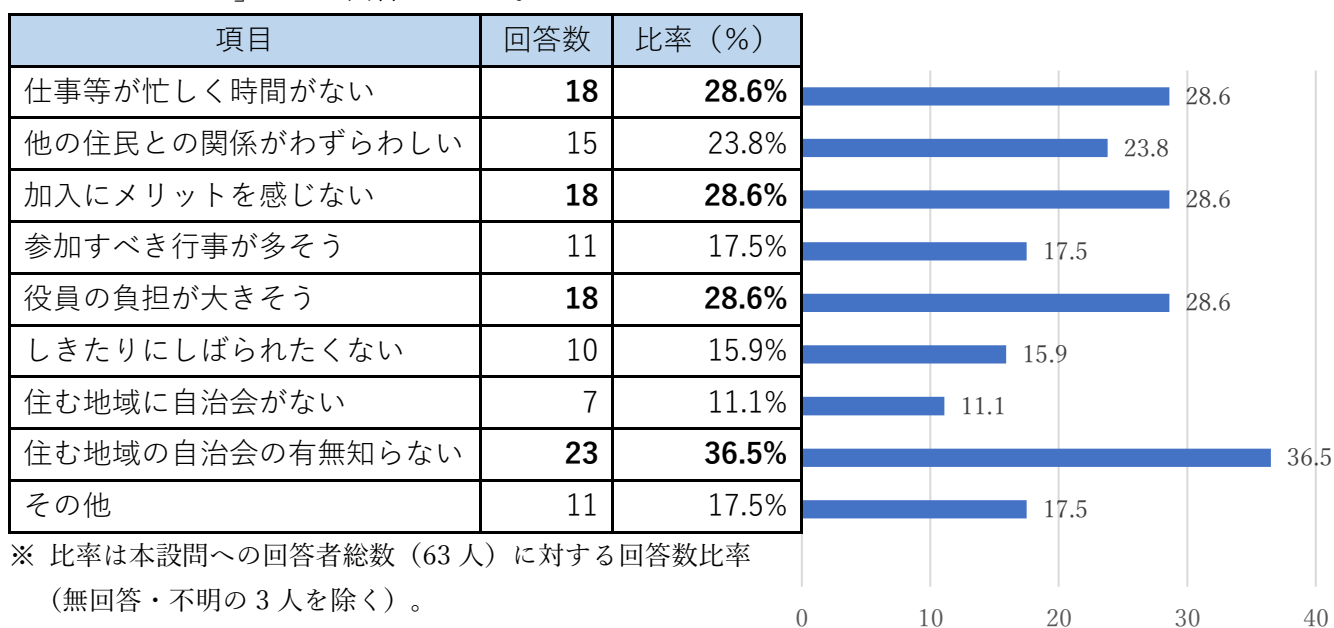


※ 無回答・不明(3人)除く。

② 自治会に加入していない理由(問 8)【複数回答】

※ 問7「加入したいと思っているが、まだ加入していない」または「加入していない」と回答した方が対象であり、本設問に回答された方は63人であった。下表の比率は63人に対する割合である。

- ・自治会に加入していない理由別の回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・未加入者のうち「住んでいる地域に自治会があるかどうか知らないから」が36.5%と最も多く、「加入にメリットを感じないから」が28.6%、「仕事などが忙しくて時間がないから」「役員の負担が大きそうだから」とがともに28.6%となっていることがわかった。
- ・これらのことから、自治会活動やメリットなどの情報発信や、自治会活動の負担軽減が未加入者の加入に向けて重要であると推測できる。
- ・「その他」は、「体が不自由だから」「同居人が加入しているから」「加入しなくていいといわれたから」などの回答であった。

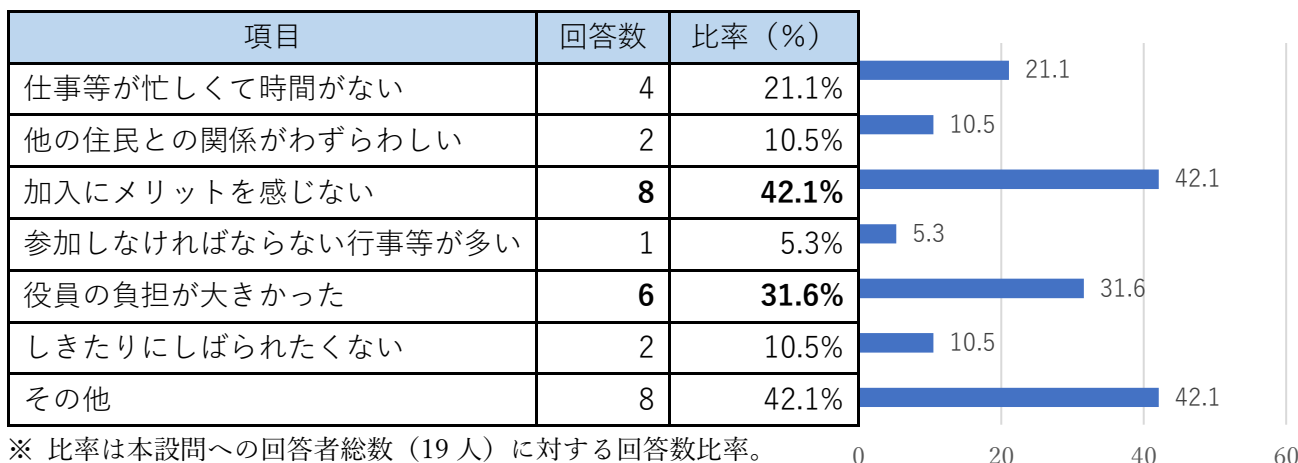


※ 比率は本設問への回答者総数(63人)に対する回答数比率(無回答・不明の3人を除く)。

③加入していたが、既に脱会した理由(問9)【複数回答】

※ 問7「加入していたが、既に脱会した」と回答した方19人が対象。

- ・脱会した理由別の回答者数及び比率は別表のとおりであった。
- ・「加入にメリットを感じないから」が42.1%で最も高く、「役員の負担が大きかったから」が31.6%と次に多くなっている。
- ・「その他」は、「周りの人が高齢になり脱会したから」「近所の家が一同に脱会し、知り合いがいなくなったから」「自治会の運営に疑問を感じたから」などの回答であった。

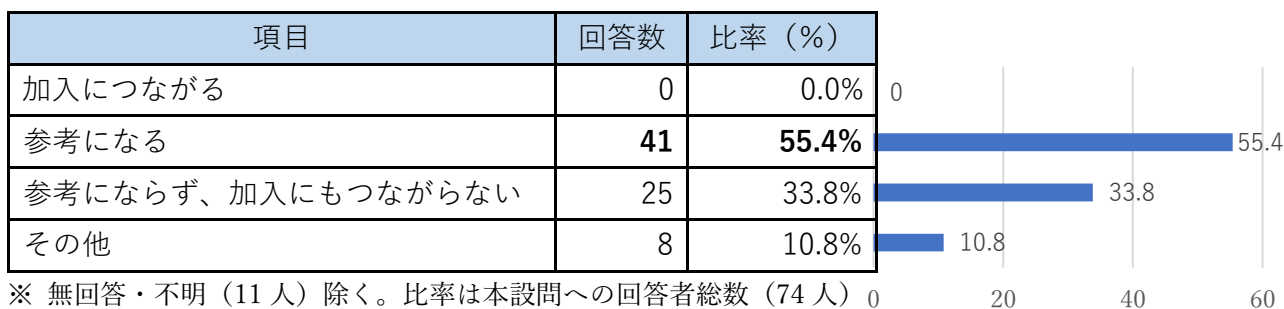


※ 比率は本設問への回答者総数（19人）に対する回答数比率。

④自治会加入を検討する際に、活動の意義等が具体的にわかるもの(自治会活動を紹介するリーフレット、自治会のホームページ)があれば、その後の自治会への加入につながると思うか(問10)

※ 問7「加入したいと思っているが、まだ加入していない」または「加入していない」または「加入していたが、既に脱会した」と回答した方(85人)のうち無回答・不明(11人)を除く方(74人)が対象。

- ・「参考になる」が55.4%と最も多く、「参考にならず、加入にもつながらない」が33.8%と次に多くなっている。
- ・「その他」は、「興味がある人には参考になり加入につながるかもしれない」、「加入しなくても不自由はないのでよくわからない」などの意見があった。



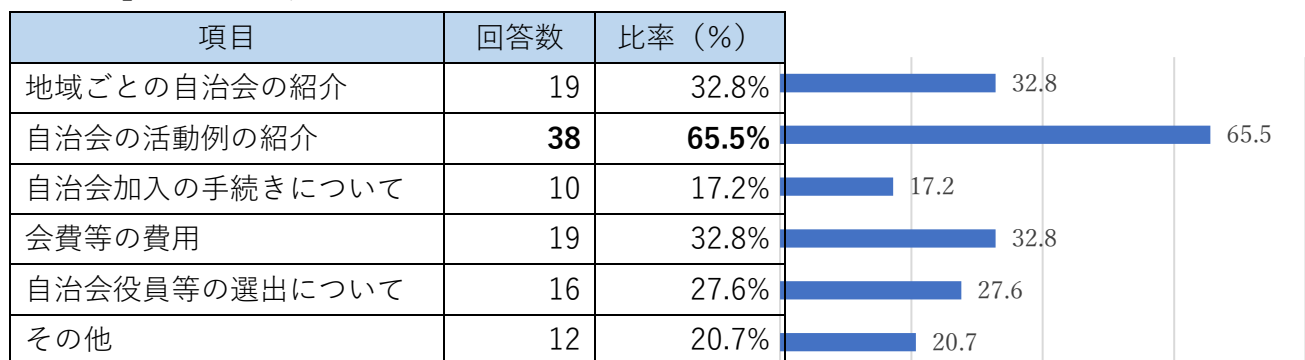
※ 無回答・不明(11人)を除く。比率は本設問への回答者総数(74人)に対する回答数比率

⑤リーフレットやホームページにどのような内容が記載されていたら手に入れたい、見てみたいと思うか(問 11)

【複数回答】

※ 問7「加入したいと思っているが、まだ加入していない」または「加入していない」または「加入していたが、既に脱会した」と回答した((85人)のうち無回答・不明(27人)を除く方(58人)が対象。

- ・手に入れたい、見てみたいと思う内容別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「自治会の活動例の紹介」が65.5%と最も高く、「地域ごとの自治会の紹介」「会費等の費用」がともに32.8%と次に高くなっている。
- ・「その他」は、「特になし」が多い一方で、「子育て世帯が参加できるもの」「加入のメリット」といった意見もあった。

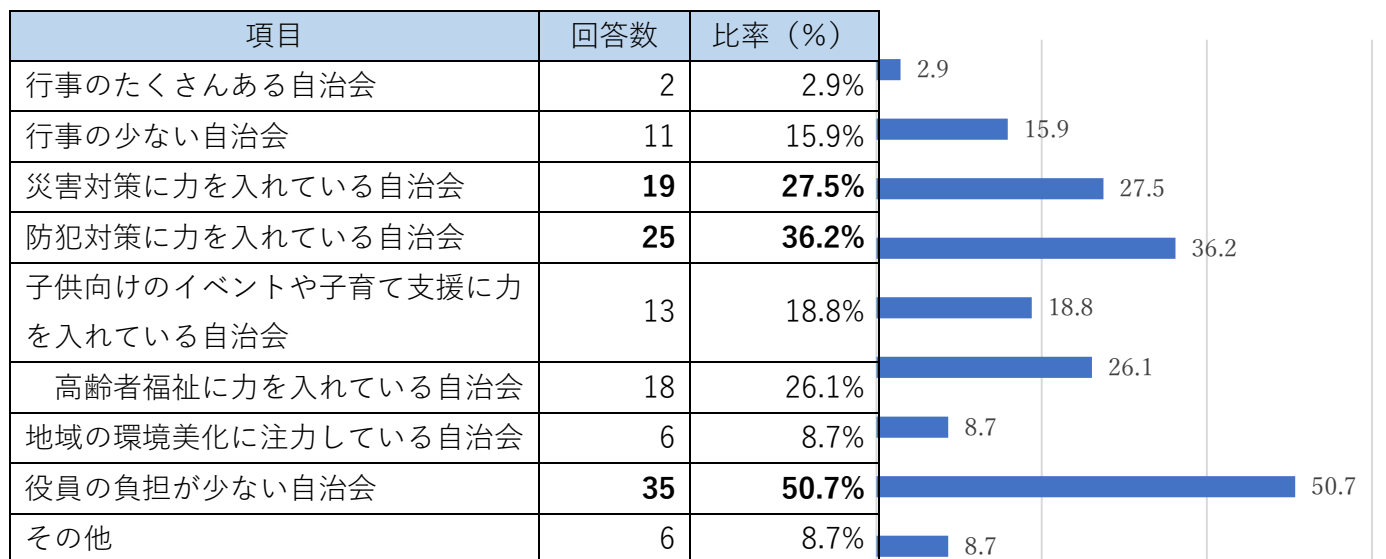


※ 比率は本設問への回答者総数(58人)に対する回答数比率(無回答・不明の27人を除く)

⑥どのような自治会であれば加入したいと思うか(問 12)【複数回答】

※ 問7「加入したいと思っているが、まだ加入していない」または「加入していない」または「加入していたが、既に脱会した」と回答した方(85人)のうち無回答・不明(16人)を除く方(69人)が対象。

- ・加入したい自治会の内容別の回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「役員の負担が少ない自治会」が50.7%と約半分で最も高く、「防犯対策に力を入れている自治会」が36.2%「災害対策に力を入れている自治会」が27.5%と続く結果となっている。また「高齢者福祉に力を入れている自治会」も26.1%と相対的に高くなっている。
- ・「その他」は、移転して来た者にも平等な行事の誘い「興味がない」などの意見であった。

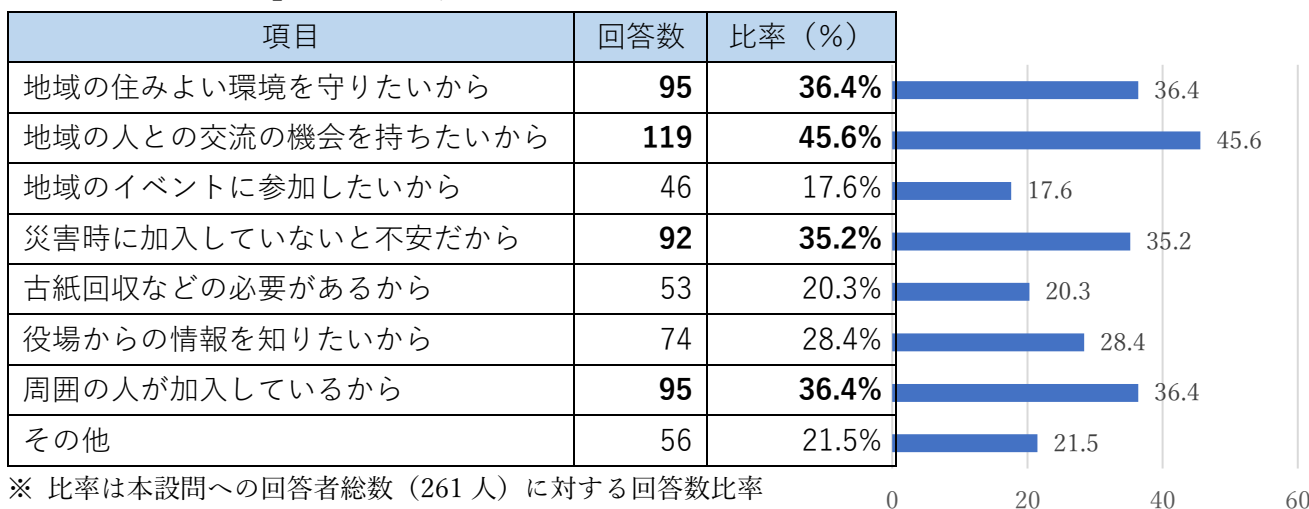


※ 比率は本設問への回答者総数(69人)に対する回答数比率(無回答・不明の16人を除く)

⑦自治会に加入している理由(問 13)【複数回答】

※ 問 7「加入している」と回答した方(282 人)のうち無回答・不明 (21 人) を除く方 (261 人) が対象。

- ・自治会に加入している理由別の回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「地域の人との交流の機会を持ちたいから」が 45.6%で最も高く、「地域の住みよい環境を守りたいから」「周囲の人が加入しているから」がともに 36.4%、「災害時に加入していないと不安だから」が 35.2%と高くなっている。また、「役場からの情報を知りたいから」も 28.4%と相対的に高い割合を示している。「地域の人との交流」や「周囲の人が加入している」などの理由は、総じて地域での近所付き合いを重視していることを示している。
- ・一方で、「地域のイベントに参加したいから」は、17.6%に止まることがわかった。
- ・「その他」は、「加入するものと思っているから」「昔から加入していたから」「親世代がしていたから」「子供がいるから」「入居者に加入義務があったから」「地域住民間の協力が不可欠だから」といった意見であった。



※ 比率は本設問への回答者総数 (261 人) に対する回答数比率 (無回答・不明の 21 人を除く)

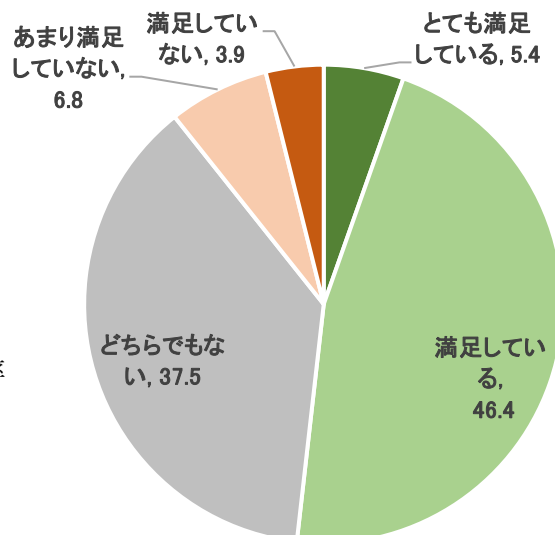
(3)自治会に対する意識について

※本項目はすべて問 7「(自治会に) 加入している」と回答した方 (282 人) のうち無回答・不明(2 人) を除く方 (280 人) が対象。

①自治会への満足度(問 14) ※無回答・不明 (2 人) 除く。

- ・自治会への満足度別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「とても満足している」「満足している」が約 52%と過半数を超える一方で、「あまり満足していない」「満足していない」は併せて約 11%に止まっている。

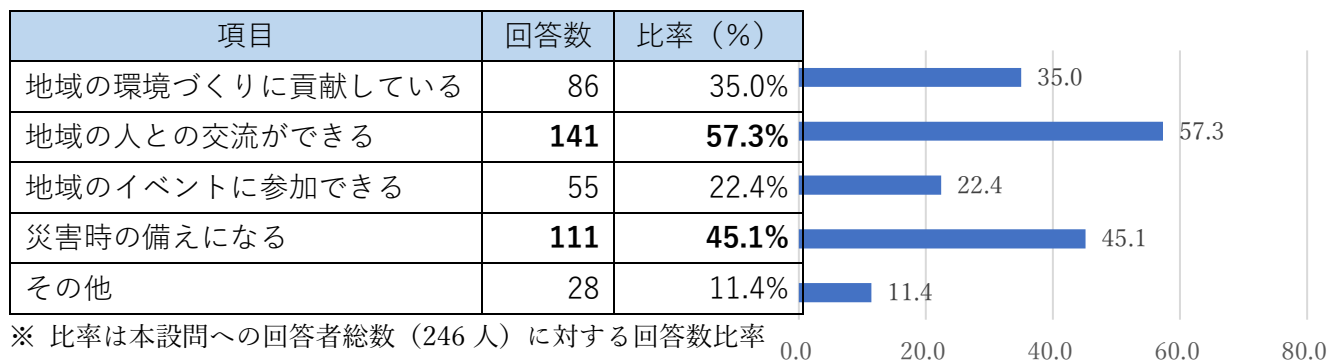
項目	実数 (人)	比率 (%)
とても満足している	15	5.4%
満足している	130	46.4%
どちらでもない	105	37.5%
あまり満足していない	19	6.8%
満足していない	11	3.9%



※ 比率は本設問への回答者総数(280 人)に対する回答数比率 (無回答・不明の 2 人を除く)

②自治会に対して満足している点(問15)【複数回答】

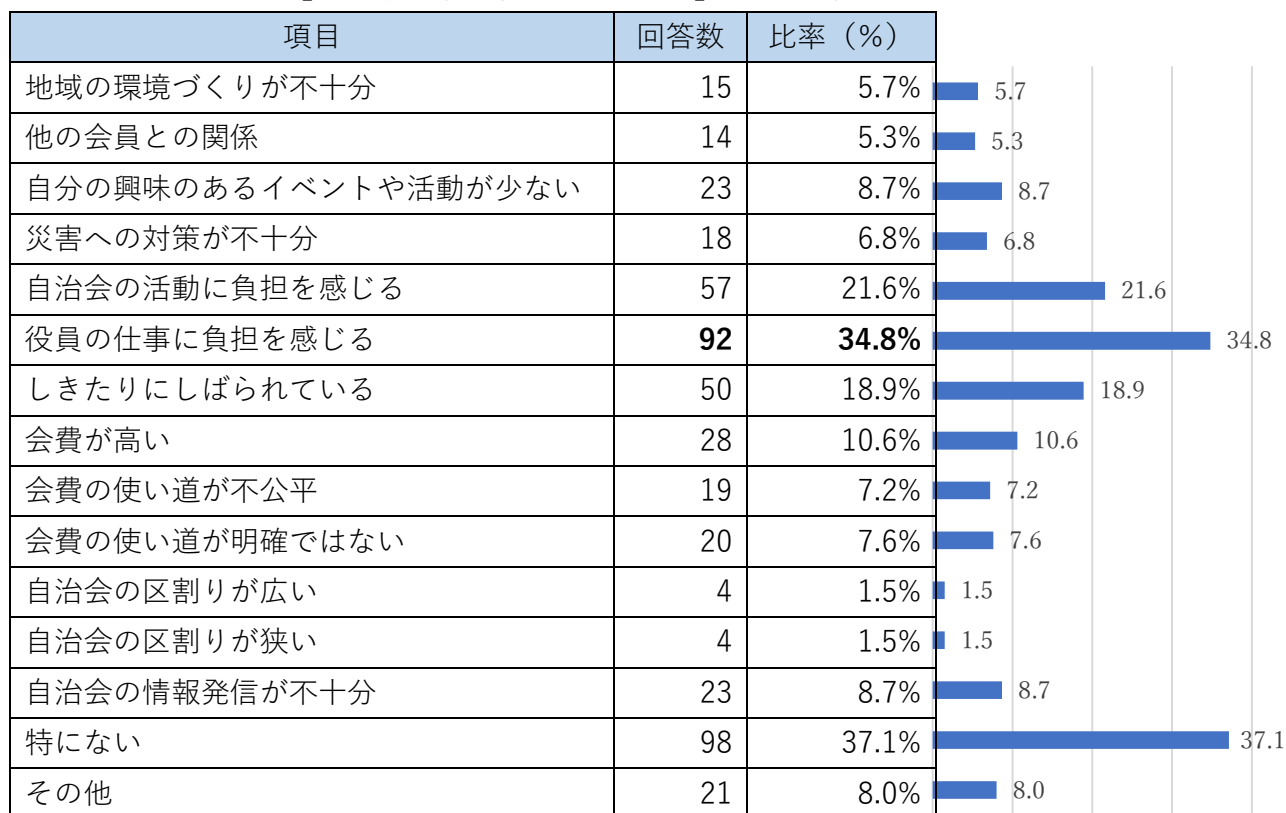
- ・自治会に加入している人の自治会に満足している点については下表の通りである。
- ・「地域の人との交流ができる」が57.3%と最も高く、「災害時の備えになる」が45.1%と高くなっている。
- ・「その他」は、「特になし」が多い一方で、「要望が伝えやすい」「自分の暮らす社会を知るきっかけがもらえる」「地域の情報が入手できる」「除草作業などをしていただいている」「知っている人がいる安心感がある」などの意見があった。



※ 比率は本設問への回答者総数(246人)に対する回答数比率(無回答・不明(36人)除く)

③自治会に対して不満を感じている点(問16)【複数回答】

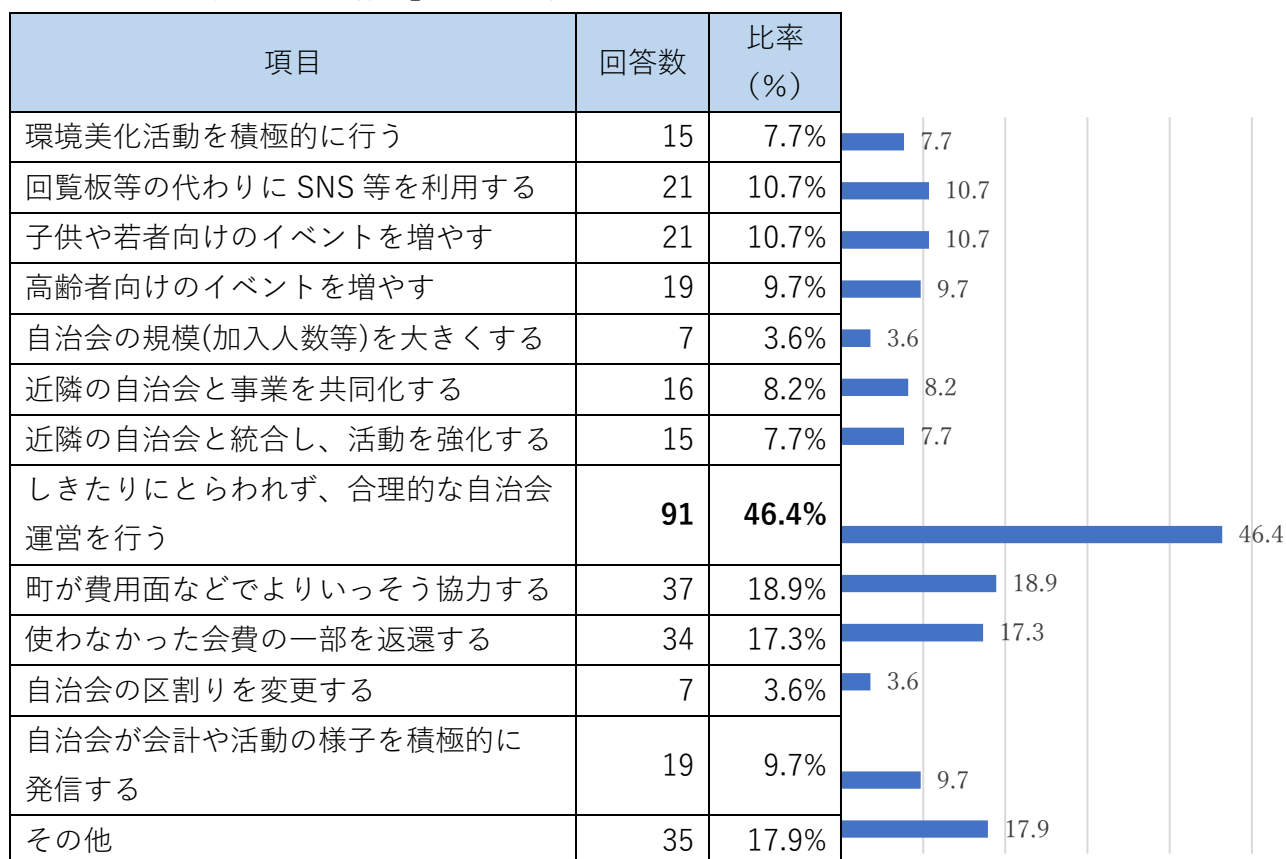
- ・自治会に加入している人で自治会に不満を感じている回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「特になし」が37.1%と最も高く「役員の仕事に負担を感じる」が34.8%と高くなっている。
- ・「その他」は、「若者が少ない」「会議運営が大変」「高齢化による担い手不足」「メリットが感じられない」「脱会が多く機能していない」などの意見があった。



※ 比率は本設問への回答者総数(264人)に対する回答数比率(無回答・不明(18人)除く)

④不満を感じている点はどうすれば解消できるか(問 17)【複数回答】

- ・不満を感じている点の解消手法別の回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「しきたりにとらわれず、合理的な自治会運営を行う」が約 46%と最も高く、「回覧板等の代わりに SNS 等を利用する」「子供や若者向けのイベントを増やす」がともに約 11%と高くなっている。
- ・「その他」は、「特になし」が多い一方で、「回覧板も SNS にしたり、会費等も振り込みにすべき」「元気な高齢者は役員をリタイアせず、積極的に参加する」「災害時の助け合いなど自治会に入るメリットを発信する」「世帯会費を平等の金額にする」「災害時のシュミレーションや訓練を自治会レベルでも行う」「地域や自治会の組織運営や会議の方法についての勉強会をして、共通認識を作る」などの意見があった。



※ 比率は本設問への回答者総数（196 人）に対する回答数比率
（無回答・不明（86 人）除く）

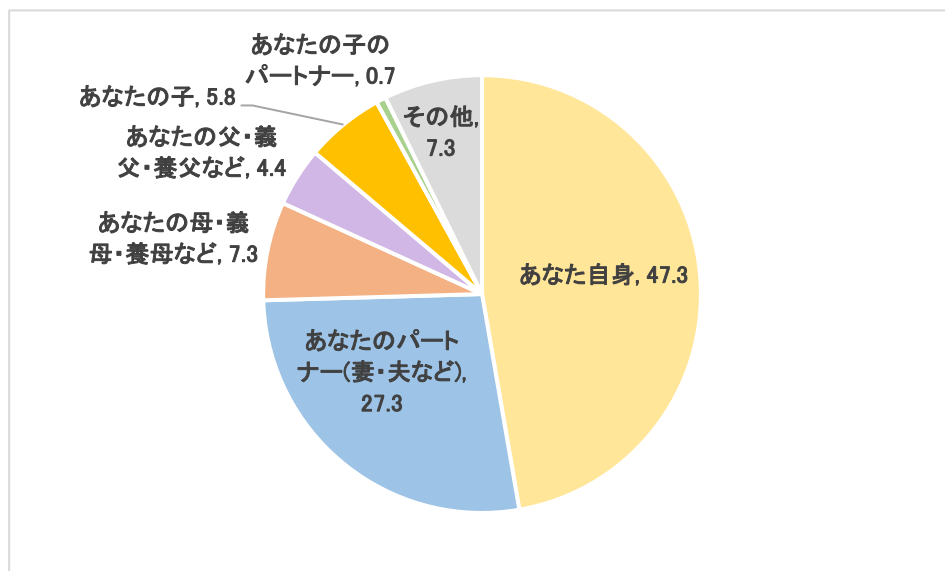
(4) 自治会への参加経験について

※本項目はすべて問7「(自治会に)加入している」と回答した方を対象

①世帯において主に自治会の仕事に参加しているのは誰か(問18)

- ・世帯における自治会の仕事への参加主体別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「回答者本人」が約47%と最も多く「回答者のパートナー」が約27%と次に多くなっている。
- ・「その他」は、「夫婦」「祖父・祖母」「兄弟」などの回答であった。

項目	実数(人)	比率(%)
あなた自身	130	47.3%
あなたのパートナー(妻・夫など)	75	27.3%
あなたの母・義母・養母など	20	7.3%
あなたの父・義父・養父など	12	4.4%
あなたの子	16	5.8%
あなたの子のパートナー	2	0.7%
その他	20	7.3%



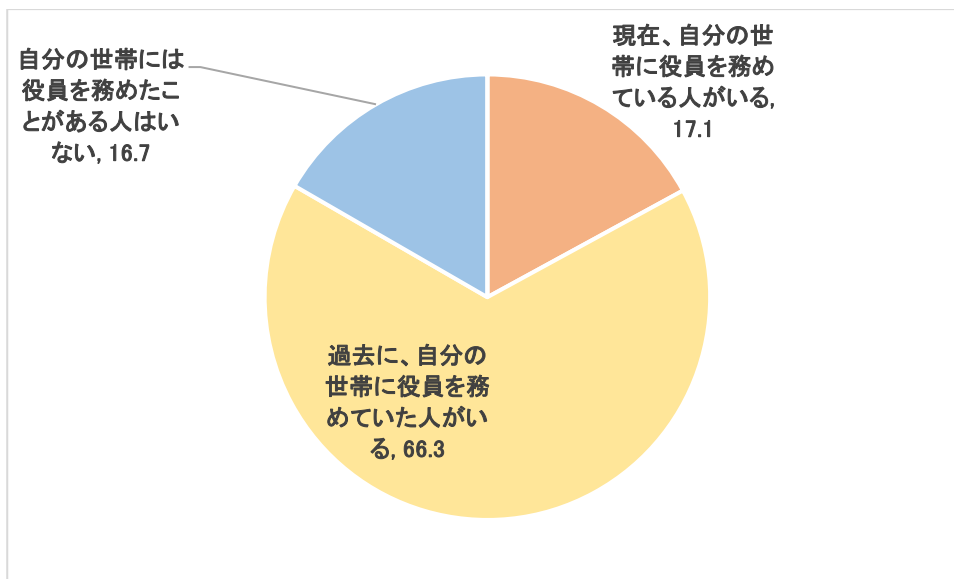
※ 本設問への回答者は275人、無回答・不明(7人)除く。

※ 比率は小数点第2位で四捨五入しているため、合計しても100%にならない。

②世帯員の自治会役員経験の有無(問 19)

- ・世帯員の自治会役員経験の有無別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「現在務めている人がいる」「過去に務めていた人がいる」が併せて約 83%であることに對し、「役員を務めたことがある人はいない」は約 17%となっている。

項目	実数 (人)	比率 (%)
現在、自分の世帯に役員を務めている人がいる	44	17.1%
過去に、自分の世帯に役員を務めていた人がいる	171	66.3%
自分の世帯には役員を務めたことがある人はいない	43	16.7%



※ この設問に回答したのは 258 人、無回答・不明 (24 人) 除く。

※ 比率は小数点第 2 位で四捨五入しているため、合計しても 100%にならない。

③自治会役員を務めて感じた点(問 20)【複数回答】

※ 問 19「現在、自分の世帯に役員を務めている人がある」または「過去に、自分の世帯に役員を務めていた人がある」と回答した方を対象。

- ・自治会役員を務めて感じた点別の回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「人とのつながりの大切さを感じた」と考える役員経験者が約 44%と最も多いが、「役員のなり手がいない、又は少ない」が約 42%、「役員の仕事の量が多かった」が約 37%と多くなっている。
- ・「その他」は、「役職によって負担の違いを感じた」「仕事をしながら時間を作ることが大変」「役員は1年の任期だったので、負担は感じなかった」「役場が開いている時間に出向かないといけないので平日の主婦に負担がかかる」「助けてくれる人がいたので困らなかった」などの回答であった。

項目	回答数	比率 (%)
役員の仕事の量が多かった	77	37.2%
役員任せにされて困った	31	15.0%
前任者からの引継ぎがなく困った	6	2.9%
役員のなり手がいない、又は少ない	87	42.0%
地域に貢献している充実感があった	53	25.6%
人とのつながりの大切さを感じた	91	44.0%
その他	18	8.7%

※ 比率は本設問への回答者総数（207人）に対する回答数比率（無回答・不明（8人）除く）

④世帯に自治会役員を務めた人のいない理由(問 21)【複数回答】

※ 問 19「自分の世帯には役員を務めたことがある人はいない」と回答した方（43人）を対象

- ・世帯に自治会役員を務めた人のいない理由別の回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「依頼されたことがないため」が約 59%と最も多く、「仕事等との両立が難しいため」が約 21%と次に高くなっている。
- ・「その他」は、「自治会の役員対象年齢ではないため」「昔からその地域に住んでいる人に役員をしていただくため」「加入してまだ浅いため」などの回答があった。

項目	実数 (人)	比率 (%)
依頼されたことがないため	23	59.0%
仕事等との両立が難しいため	8	20.5%
年齢等の理由から難しいため	7	17.9%
役員の仕事について分からないため	6	15.4%
役員を務める自信がないため	6	15.4%
その他	7	17.9%

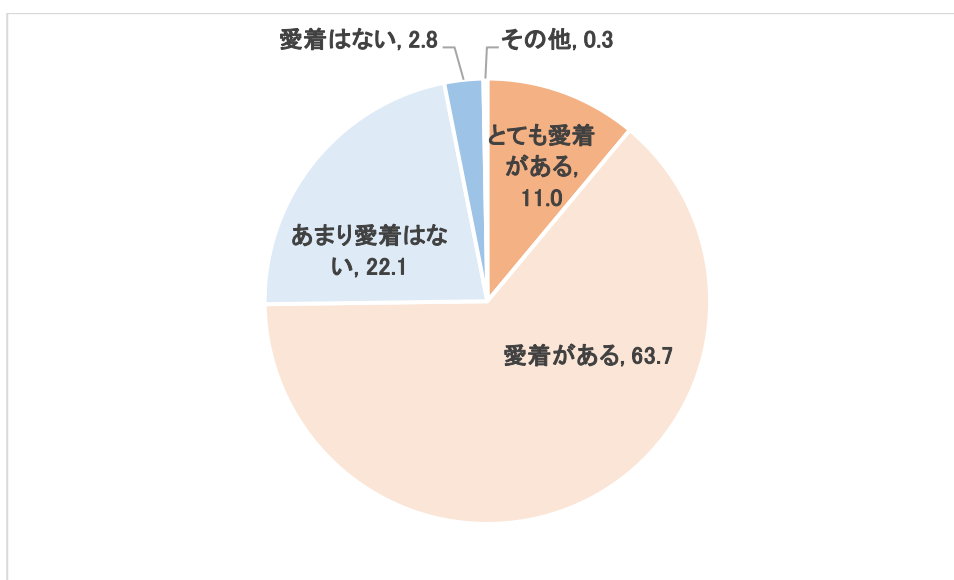
※ 比率は本設問への回答者総数（39人）に対する回答数比率（無回答・不明（4人）除く）

(5) 地域活動への参加状況等について

① 居住地域への愛着(問 22)

- ・ 本設問は回答者全員が対象。居住地域への愛着別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・ 「とても愛着がある」「愛着がある」は併せて約 75%と非常に多い一方で、「あまり愛着がない」「愛着がない」とする回答者は併せて約 25%となっている。
- ・ 「その他」は、全て「わからない」という回答であった。

項目	実数 (人)	比率 (%)
とても愛着がある	39	11.0%
愛着がある	225	63.7%
あまり愛着はない	78	22.1%
愛着はない	10	2.8%
その他	1	0.3%



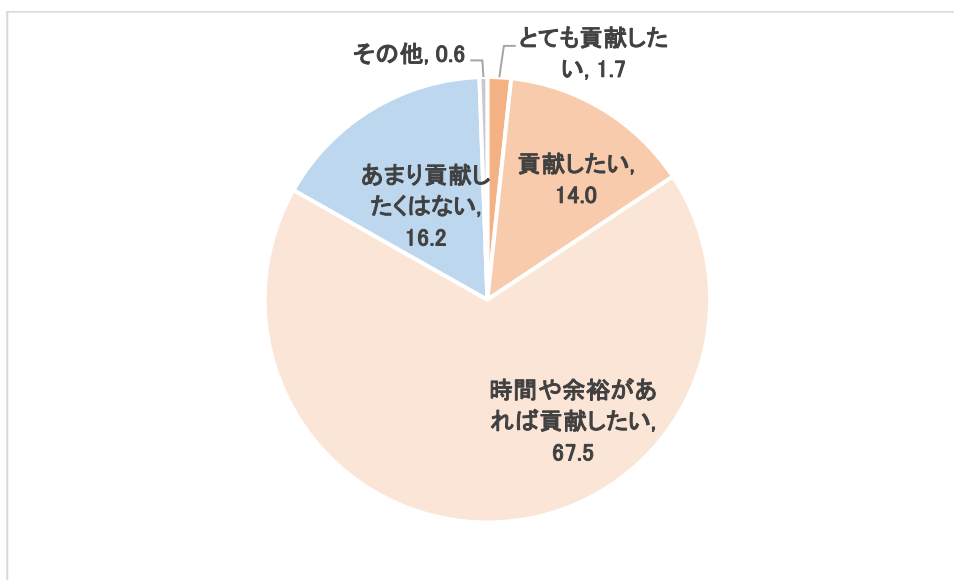
※ 本設問に回答された方 353 人。(無回答・不明 (17 人) 除く。

※ 比率は小数点第 2 位で四捨五入しているため、合計しても 100%にならない。

②地域への貢献意志の有無・程度(問 23)

- ・本設問は回答された方全員が対象。
- ・地域への貢献意志の有無・程度別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「時間や余裕があれば貢献したい」が約 68%と最も高く、「とても貢献したい」の約 2%、「貢献したい」の約 14%と併せて約 84%が地域貢献に意欲を持っていることがわかった。
- ・「その他」は、「地域貢献は必要ない」などの回答があった。

項目	実数 (人)	比率 (%)
とても貢献したい	6	1.7%
貢献したい	49	14.0%
時間や余裕があれば貢献したい	237	67.5%
あまり貢献したくはない	57	16.2%
その他	2	0.6%

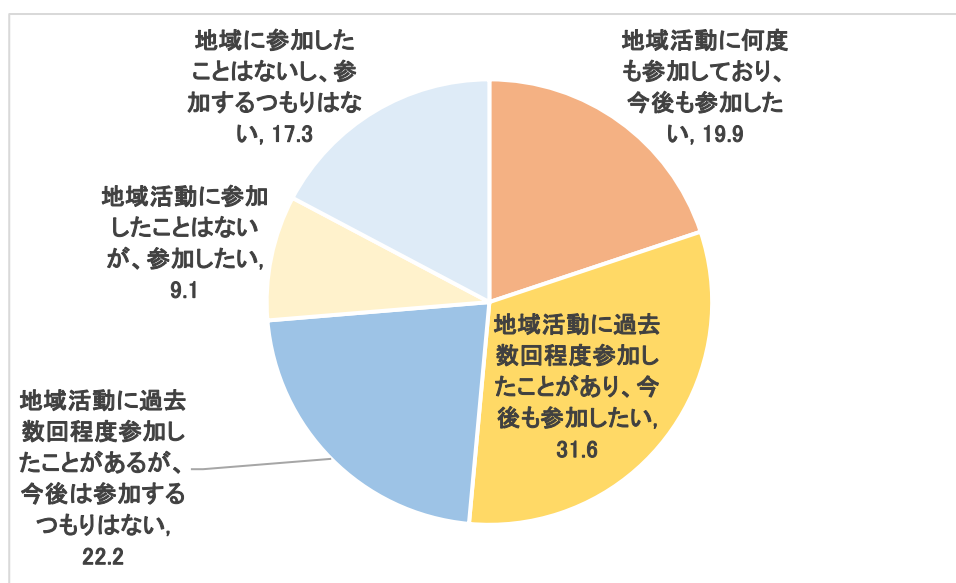


※ 本設問には 351 人が回答。無回答・不明 (19 人) 除く。

③地域活動への参加状況(問 24)

- ・地域活動への参加状況別の回答者数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「地域活動に何度も参加しており、今後も参加したい」「地域活動に過去数回程度参加したことがあり、今後も参加したい」「地域活動に参加したことはないが、参加したい」が併せて約60%と半数を超える一方で、「地域活動に過去数回程度参加したことがあるが、今後は参加するつもりはない」「地域活動に過去数回程度参加したことがあるが、今後は参加するつもりはない」が併せて約40%となっている。
- ・問23及び問24で地域への愛着や地域貢献の意志が高い回答者が多いことが分かった一方で、地域活動への参加についてはモチベーションがある回答者の割合は低下してる。
- ・今後の地域活動の担い手として期待される「地域活動に参加したことはないが、参加したい」と考える回答者の割合が、「地域に参加したことはないし、参加するつもりはない」と考える回答者に比べて、かなり低くなっている。

項目	実数(人)	比率(%)
地域活動に何度も参加しており、今後も参加したい	68	19.9%
地域活動に過去数回程度参加したことがあり、今後も参加したい	108	31.6%
地域活動に過去数回程度参加したことがあるが、今後は参加するつもりはない	76	22.2%
地域活動に参加したことはないが、参加したい	31	9.1%
地域に参加したことはないし、参加するつもりはない	59	17.3%



※ 本設問への回答者 342 人。無回答・不明 (28 人) 除く。

※ 比率は小数点第 2 位で四捨五入しているため、合計しても 100%にならない。

(6) 地域の情報の入手・発信手段について

① 役場のお知らせなどの情報の入手手段(問 25)【複数回答】

- ・情報の入手手段別の回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「掲示板」が約 58%と最も高く、「役場の広報紙」が約 25%と次に高くなっている。
- ・「その他」は、「家族から聞く」「新聞記事」「友人から聞く」「役場からの郵送物」などの回答があった。

項目	実数 (人)	比率 (%)
役場の広報紙	297	83.2%
役場のホームページ	87	24.4%
掲示板	38	10.6%
回覧板	206	57.7%
同じ自治会の人から聞く	43	12.0%
別の自治会の人から聞く	5	1.4%
自治会の SNS(LINE 等)	1	0.3%
その他	13	3.6%

※ 比率は本設問への回答者総数 (357 人) に対する回答数比率 (無回答・不明 (13 人) 除く)

② 自治会についてデジタル化・オンライン化を望む内容(問 26)【複数回答】

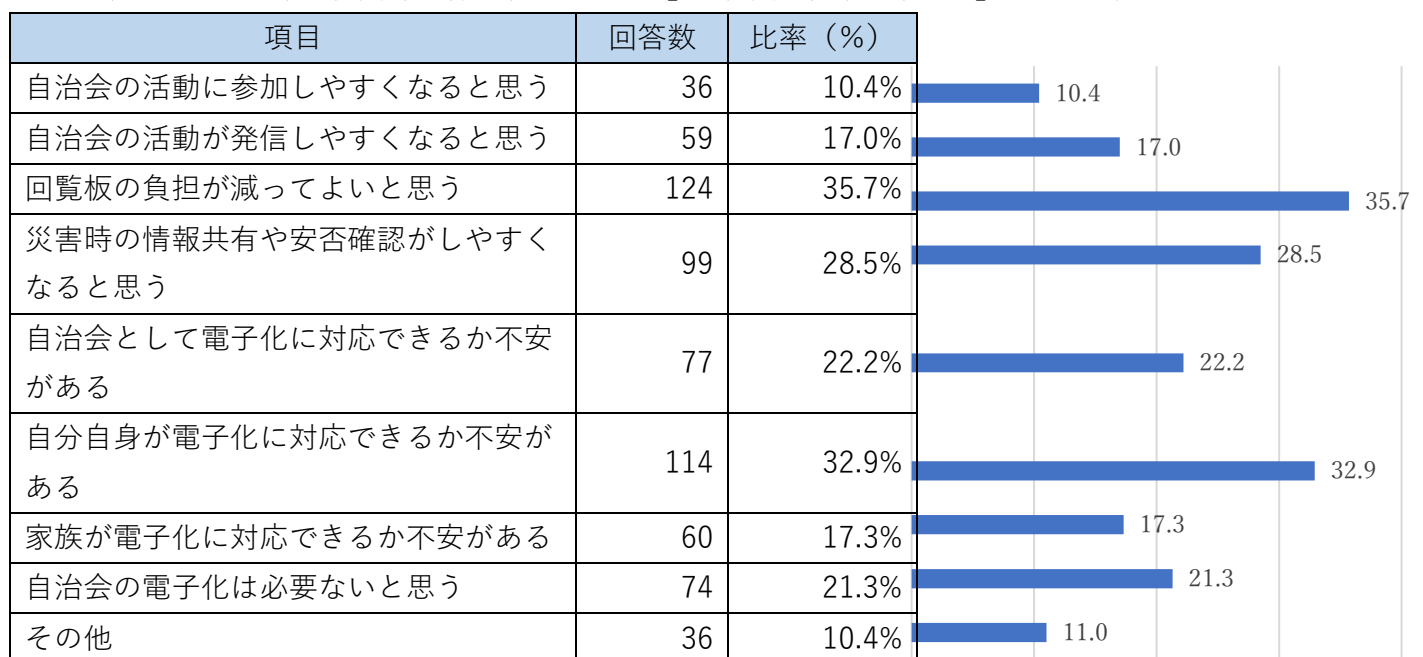
- ・自治会についてデジタル化・オンライン化を望む内容別の回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「特になし」が約 43%と最も高く、「防災情報」が約 38%、「防犯情報」が約 31%と続く状況となっている。
- ・「その他」は「地域の公共施設のイベント案内」「会費等の集金方法」などの回答があった。

項目	実数 (人)	比率 (%)
自治会の役員の知らせ	37	10.5%
自治会の広報	62	17.5%
防災情報	136	38.4%
防犯情報	109	30.8%
自治会員同士の交流サイト	19	5.4%
回覧板	91	25.7%
特になし	152	42.9%
その他	24	6.7%

※ 比率は本設問への回答者総数 (354 人) に対する回答数比率 (無回答・不明 (16 人) 除く)

③自治会や回覧板の電子化についての考え(問 27)【複数回答】

- ・自治会や回覧板の電子化についての考え別の回答数及び比率は下表のとおりであった。
- ・「回覧板の負担が減ってよいと思う」が約 36%で最も多く、電子化に肯定的に考える回答者が比較的存在する一方で、「自治会として電子化に対応できる不安がある」が約 22%、「自分自身が電子化に対応できるか不安がある」が約 33%、「家族が電子化に対応できるか不安がある」が約 17%と電子化の導入に不安を覚える回答者も一定存在することがわかった。
- ・「その他」は、「高齢者には使いこなすことが難しい」というものが多かった。また、「全員が対応する必要はなく、使える人から対応していけばよいと思う」「コロナ禍で人と接する機会を減らす意味ではいいと思う」「電子化を周知徹底する事が大切」「高齢者が多いため電子化になれば、増々役員辞退者が増えるのでは」「役員の仕事が増える」などの意見があった。



※ 比率は本設問への回答者総数 (347 人) に対する回答数比率
(無回答・不明 (23 人) 除く)

(7)その他

①地域での困りごと、解決すべき問題について（問 28）

- ・地域での困りごと、解決すべき問題別の回答数は下表のとおりであった。
- ・「生活環境」に関連した「不法投棄、ゴミ問題」に関する意見が 15 件と最も多く、「自治会運営」に関連した「自治会の高齢化、なり手不足、退会問題」に関する意見が 13 件と次に多くなっている。
- ・これらの他、「交通」に関連した「交通マナー」も 10 件と続いている。

項目	意見（自由記述）	件数（件）
生活環境 (33 件)	不法投棄、ゴミ問題	15
	害虫駆除問題	5
	野良猫、餌やり、猫屋敷	3
	屋外設置物等への規制問題	2
	セミが多すぎる	2
	その他（ペットマナー、野焼きの問題、街路樹の管理、溝掃除、公団の掃除、ゴミ屋敷）	6
交通 (27 件)	交通マナー（農道の車、高校生の自転車マナーなど）	10
	違法駐車、路上駐車	7
	渋滞、交通問題	6
	交通の利便性、減便問題	3
	道路族問題	1
自治会運営 (23 件)	自治会の高齢化、なり手不足、退会問題	13
	自治会運営の効率化	3
	役場は自治会に頼りすぎ	2
	地域情報の共有	2
	その他（回覧板が多すぎる、自治会活動が負担、役員の負担軽減）	3
コミュニティ・人間関係 (22 件)	人間関係の希薄化、世代間交流	5
	騒音トラブル	4
	高齢者世帯、一人暮らし世帯が増えている事	4
	人間関係の綻れ、隣人間トラブル	3
	外国人の支援・交流・トラブル	3
	その他（プライバシー問題、独居老人に関する課題、若者向けイベントの必要性）	3
防災・防犯 (22 件)	防犯、空き巣、空き屋問題	8
	街灯が少ない	5
	防水問題	3
	避難所が遠い、経路に問題あり	3
	消防団の負担、なり手不足	2
	防災対策全般	1

ハード整備 (11件)	子供の遊び場	3
	気楽に行ける店が欲しい、子供、若者達に魅力ある施設・イベント等誘致施設の構築	3
	駐車場の数が少ない	2
	インフラの老朽化	2
	散策路の整備	1
その他（コロナ感染時の買い出し、税金に関する事など）		8

②自治会への考え(問 29)

- ・自治会への考え別の回答数は下表のとおりであった。
- ・「自治会運営」に関連した「高齢化によって自治会の維持が難しい・次世代の担い手が不足」という意見が13件と最も多くなっている。

項目	意見（自由記述）	件数（件）
自治会運営 (51件)	高齢化によって自治会の維持が難しい・次世代の担い手が不足	13
	高齢者や病気等に配慮した自治会にしてほしい	6
	役員の負担を減らすべき	4
	加入者の減少により自治会の維持が難しい	4
	不要な会合や行事は減らすべき	4
	加入を促進すべき	4
	会費が高い、使い方が不公平・不明瞭	3
	古いしきたりをなくすべき	2
	会費を口座引き落とし制にすべき	2
	高齢世代と子ども世代にメリットが偏っている	2
	コロナ対応の必要性	2
	その他（自治会に参加している人のモチベーションを保つ必要がある、自治会主催の行事に参加したい、加入者たちも不満があるのに未加入者を批判するのはおかしい、全般的に改善点を直していくべき、コロナ禍で自治会のことを考える余裕がない）	5
コミュニ ティ・人間 関係 (21件)	古い住民と新しい住民の垣根を取り払うべき	9
	若い世代との交流が必要	4
	近所付き合いは重要	4
	自治会の役割に期待、自治会活動を通して人間関係が広がった	2
	その他（住み始めて間もないため愛着がない、近所付き合いがわずらわしく自治会活動が億劫）	2
	自治会についてよく分からない	4
	電子化を導入してほしい	3

電子化・情報発信 (10件)	活動内容の発信を強化すべき	3
行政支援 (7件)	自治会の維持のために行政の支援が必要	7
生活環境 (6件)	自治会によって住みよい環境が守られている	4
	その他（自治会に側溝の掃除をしてほしい、公園の整備に負担を感じる）	2
防災・防犯 (5件)	防災・防犯機能を強化すべき	3
	その他（未加入者が多いと防災の面で問題がある、自治会や寺社との関係は防災に役立つ）	2
その他（他の自治会との統合が必要、他の自治会との交流が必要、自治会以外の組織が必要、自治会の将来の展望が知りたい など）		7

3 調査結果(クロス集計)

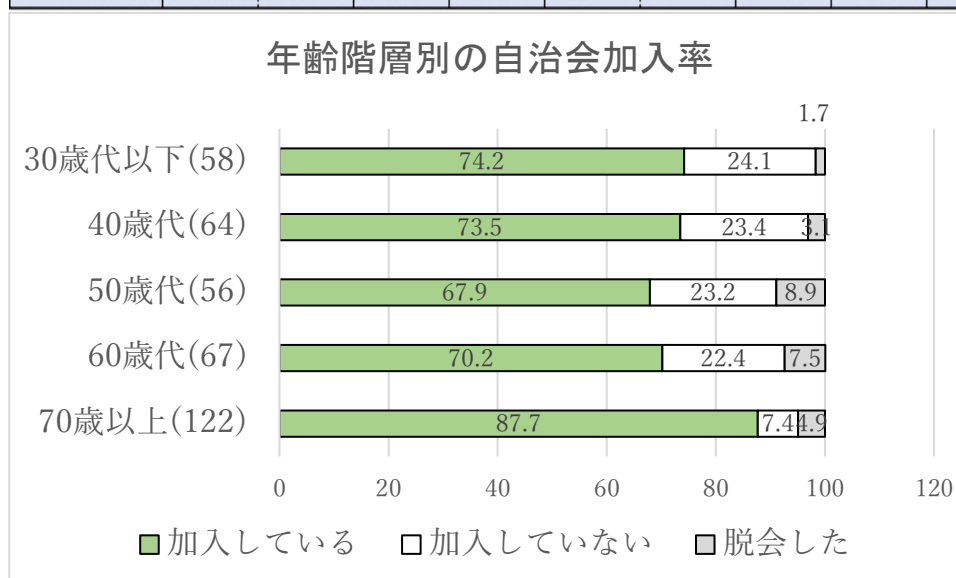
上記「2 調査結果(単純集計)」のうち、回答者の属性と各設問について、クロス集計を行った。このうち、特徴あるものを抜粋して記載する。

(1)「年齢(問1)」のクロス集計結果

①「自治会加入の有無(問7)」

- ・50歳代の回答者について、「加入している」の比率が約68%と最も低く、「脱会した」の比率が約9%と最も高くなっていることがわかった。

自治会加入の有無	30歳以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
加入している	43	74.1%	47	73.4%	38	67.9%	47	70.1%	107	87.7%	282	76.8%
加入していない	14	24.1%	15	23.4%	13	23.2%	15	22.4%	9	7.4%	66	18.0%
脱会した	1	1.7%	2	3.1%	5	8.9%	5	7.5%	6	4.9%	19	5.2%
総計	58	100.0%	64	100.0%	56	100.0%	67	100.0%	122	100.0%	367	100.0%

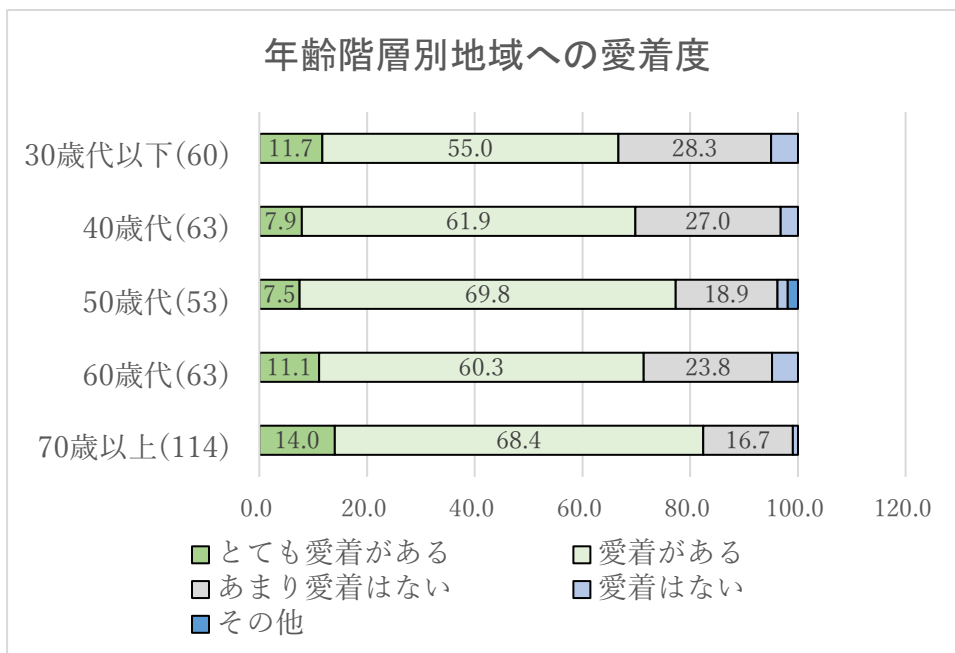


※ 表側の () はその年代の回答者数 無回答・不明 (3人) 除く。

②「居住地域への愛着(問22)」

- ・「とても愛着がある」「愛着がある」の回答の比率について、「30歳以下」が約66%、「40歳代」が約68%と、全体の約74%に対して相対的に低くなっている。
- ・また、「あまり愛着はない」「愛着はない」の回答の比率について、「30歳以下」が約33%、「40歳代」が約30%と、全体の約25%に対して相対的に高いことから、年齢層が若いほど居住地域への愛着が薄い傾向があることがわかった。

地域への愛着	30歳以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
とても愛着がある	7	11.7%	5	7.9%	4	7.5%	7	11.1%	16	14.0%	39	11.0%
愛着がある	33	55.0%	39	61.9%	37	69.8%	38	60.3%	78	68.4%	225	63.7%
あまり愛着はない	17	28.3%	17	27.0%	10	18.9%	15	23.8%	19	16.7%	78	22.1%
愛着はない	3	5.0%	2	3.2%	1	1.9%	3	4.8%	1	0.9%	10	2.8%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
総計	60	100.0%	63	100.0%	53	100.0%	63	100.0%	114	100.0%	353	100.0%

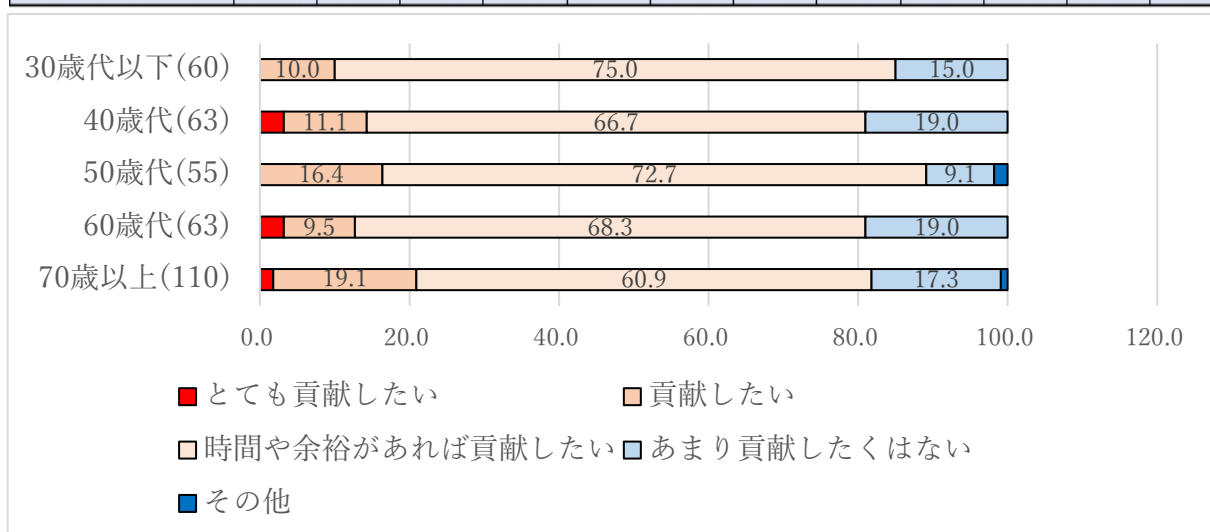


※ 表側の () はその年代の回答者数 無回答・不明 (17人) 除く。

③「地域への貢献意志の有無・程度 (問 23)」

- ・「50歳代」について、「あまり貢献したくはない」の回答の比率が約9%と最も低い一方で、「貢献したい」「時間や余裕があれば貢献したい」が約89%と最も高く、地域貢献の意向が強いことがわかった。
- ・一方で、「50歳代」は、「30歳代以下」とともに、「時間や余裕があれば貢献したい」の回答の比率が高く、地域貢献の意向はあるが、制約条件がある方が多いこともわかった。

地域貢献意向	30歳以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
とても貢献したい	0	0.0%	2	3.2%	0	0.0%	2	3.2%	2	1.8%	6	1.7%
貢献したい	6	10.0%	7	11.1%	9	16.4%	6	9.5%	21	19.1%	49	14.0%
時間や余裕があれば貢献したい	45	75.0%	42	66.7%	40	72.7%	43	68.3%	67	60.9%	237	67.5%
あまり貢献したくはない	9	15.0%	12	19.0%	5	9.1%	12	19.0%	19	17.3%	57	16.2%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	1	0.9%	2	0.6%
総計	60	100.0%	63	100.0%	55	100.0%	63	100.0%	110	100.0%	351	100.0%

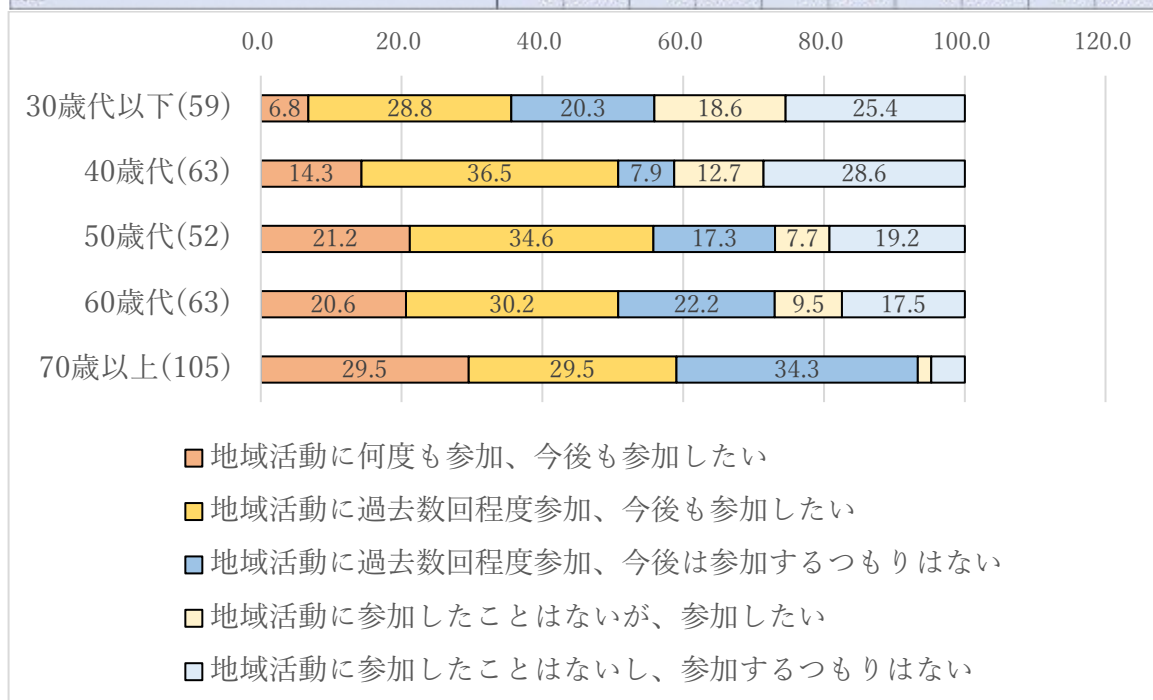


※ 表側の () はその年代の回答者数 無回答・不明 (19人) 除く。

④「地域活動への参加状況（問 24）」

- ・「30 歳代以下」について、「地域活動に何度も参加、今後も参加したい」の回答の比率が約 7%と、他世代と比較して低い傾向があることがわかった。
- ・「70 歳代」について、「地域活動に過去数回程度参加したことがあるが、今後は参加するつもりはない」の回答の比率が約 35%と、他世代と比較して高い傾向があることがわかった。
- ・「地域活動に参加したことはないし、参加するつもりもない」の回答の比率については、「40 歳代」が約 29%、「30 歳代以下」が約 25%と、その他の世代と比較して高い傾向があることがわかった。

地域活動への参加状況	30歳代以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
地域活動に何度も参加、今後も参加したい	4	6.8%	9	14.3%	11	21.2%	13	20.6%	31	29.5%	68	19.9%
地域活動に過去数回程度参加、今後も参加したい	17	28.8%	23	36.5%	18	34.6%	19	30.2%	31	29.5%	108	31.6%
地域活動に過去数回程度参加、今後は参加するつもりはない	12	20.3%	5	7.9%	9	17.3%	14	22.2%	36	34.3%	76	22.2%
地域活動に参加したことはないが、参加したい	11	18.6%	8	12.7%	4	7.7%	6	9.5%	2	1.9%	31	9.1%
地域活動に参加したことはないし、参加するつもりはない	15	25.4%	18	28.6%	10	19.2%	11	17.5%	5	4.8%	59	17.3%
総計	59	100.0%	63	100.0%	52	100.0%	63	100.0%	105	100.0%	342	100.0%

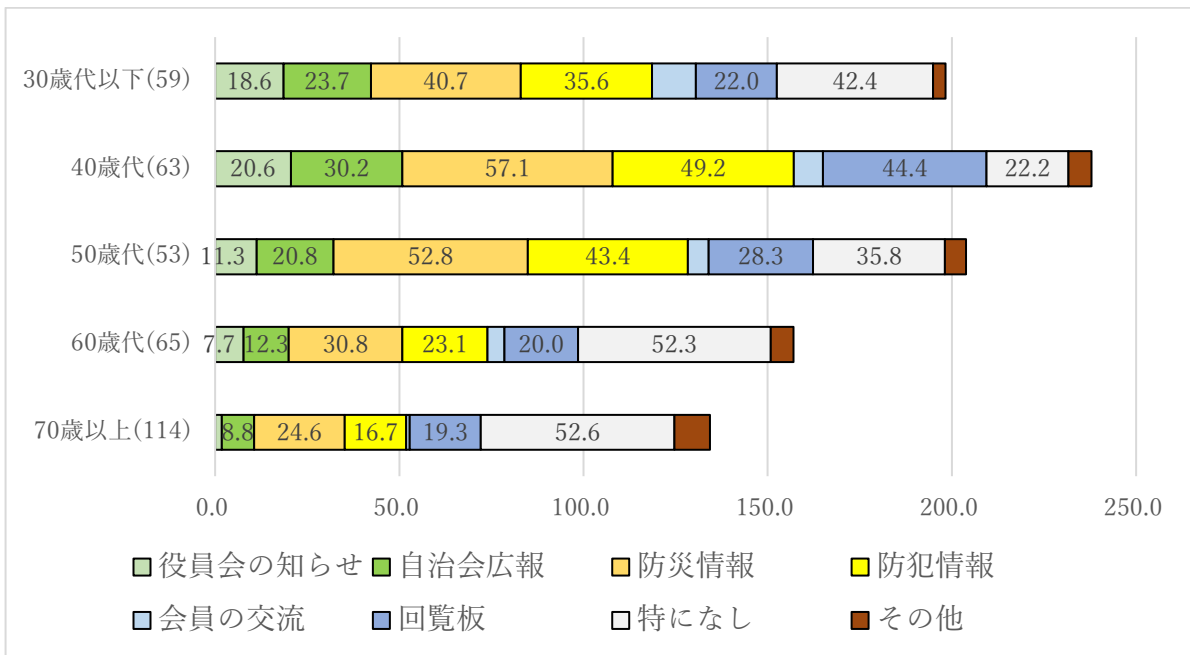


※ 表側の () はその年代の回答者数 無回答・不明 (28人) 除く。

⑤「自治会についてデジタル化・オンライン化を望む内容(問 26)【複数回答】」

- ・「60 歳代」及び「70 歳以上」について、「特になし」が半数を超えて最も多く、高齢者層にデジタル化及びオンライン化への関心が低い傾向があることがわかった。
- ・一方、デジタル化やオンライン化への関心が高いと思われる「30 歳代以下」でも、「特になし」が約 42%と最も高いことがわかった。
- ・デジタル化及びオンライン化を望むものとしては、「防災情報」及び「防犯情報」が他の選択肢と比較して高い傾向があることがわかった。

デジタル化を希望するもの	30歳代以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
自治会の役員会の知らせ	11	18.6%	13	20.6%	6	11.3%	5	7.7%	2	1.8%	37	10.5%
自治会の広報	14	23.7%	19	30.2%	11	20.8%	8	12.3%	10	8.8%	62	17.5%
防災情報	24	40.7%	36	57.1%	28	52.8%	20	30.8%	28	24.6%	136	38.4%
防犯情報	21	35.6%	31	49.2%	23	43.4%	15	23.1%	19	16.7%	109	30.8%
自治会員同士の交流サイト	7	11.9%	5	7.9%	3	5.7%	3	4.6%	1	0.9%	19	5.4%
回覧板	13	22.0%	28	44.4%	15	28.3%	13	20.0%	22	19.3%	91	25.7%
特になし	25	42.4%	14	22.2%	19	35.8%	34	52.3%	60	52.6%	152	42.9%
その他	2	3.4%	4	6.3%	3	5.7%	4	6.2%	11	9.6%	24	6.8%
回答者	59		63		53		65		114		354	

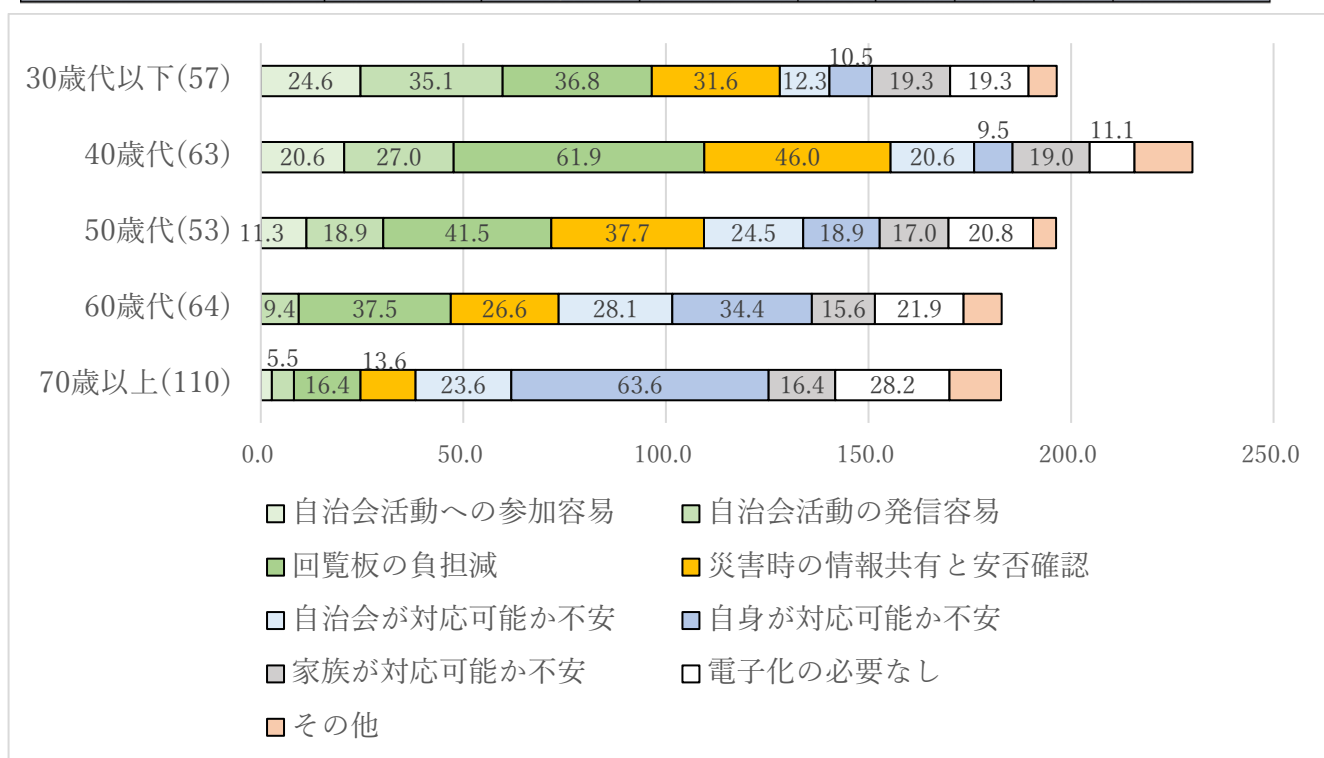


※ 表側の () はその年代の回答者数 無回答・不明 (16 人) 除く
 図中の数字は各年代の回答者に占める割合 (%)

⑥「自治会や回覧板の電子化についての考え(問 27)【複数回答】」

- ・「70歳以上」について、「自分自身が電子化に対応できるか不安」が約64%と最も高く、自治体活動の電子化に対する不安が大きいことがわかった。
- ・一方、「40歳代」は、「回覧の負担が減って良い」が約62%になるなど、他の年代の回答者に比べて、電子化に前向きであることがわかった。

デジタル化への評価	30歳以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		統計	
自治会の活動に参加しやすくなる	14	24.6%	13	20.6%	6	11.3%	0	0.0%	3	2.7%	36	10.5%
自治会の活動が発信しやすくなる	20	35.1%	17	27.0%	10	18.9%	6	9.4%	6	5.5%	59	17.2%
回覧板の負担が減って良い	21	36.8%	39	61.9%	22	41.5%	24	37.5%	18	16.4%	124	36.2%
災害時の情報共有や安否確認がしやすくなる	18	31.6%	29	46.0%	20	37.7%	17	26.6%	15	13.6%	99	28.9%
自治会として電子化に対応できるか不安	7	12.3%	13	20.6%	13	24.5%	18	28.1%	26	23.6%	77	22.4%
自分自身が電子化に対応できるか不安	6	10.5%	6	9.5%	10	18.9%	22	34.4%	70	63.6%	114	33.2%
家族が電子化に対応できるか不安	11	19.3%	12	19.0%	9	17.0%	10	15.6%	18	16.4%	60	17.5%
自治会の電子化は必要ない	11	19.3%	7	11.1%	11	20.8%	14	21.9%	31	28.2%	74	21.6%
その他	4	7.0%	9	14.3%	3	5.7%	6	9.4%	14	12.7%	36	10.5%
回答者	57		63		53		64		110		347	



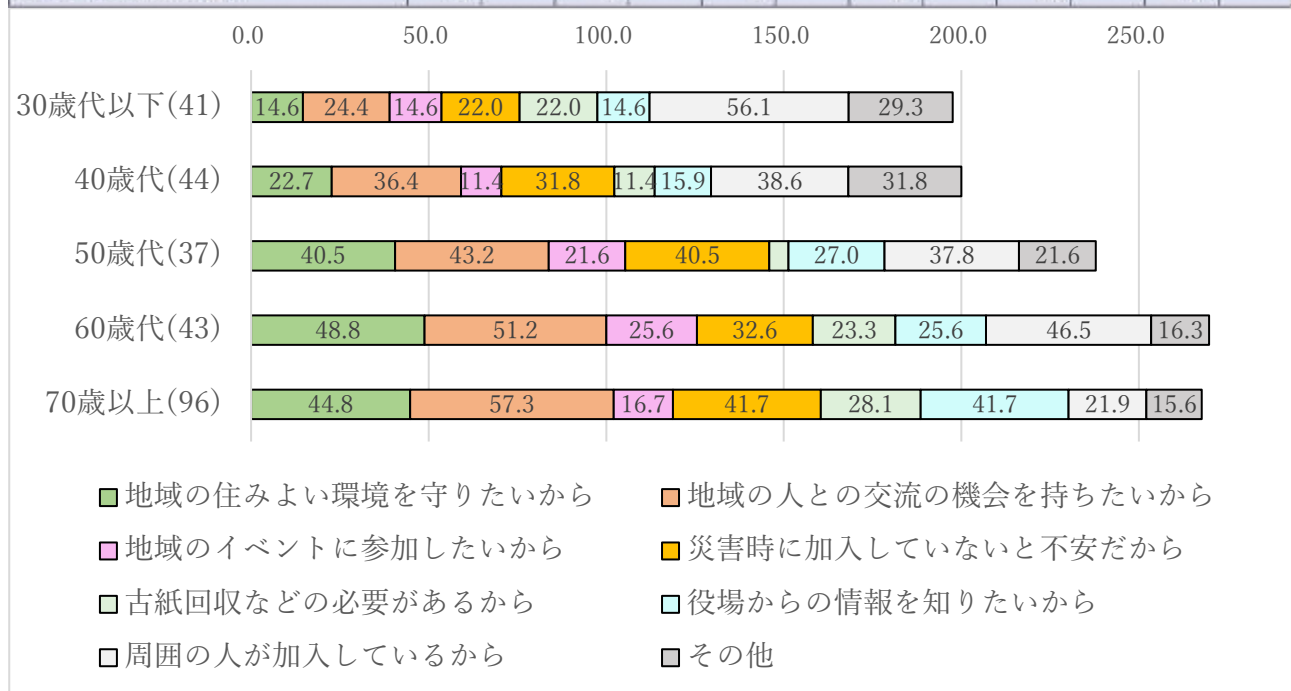
※ 表側の () はその年代の回答者数 無回答・不明 (23人) 除く

図中の数字は各年代の回答者に占める割合 (%)

⑦「自治会に加入している理由(問 13)【複数回答】」

- ・「地域の住みよい環境を守りたいから」の回答の比率について、「30歳代以下」が約15%、「40歳代」が約23%と、全体平均の比率約36%に対して低い傾向があることがわかった。
- ・「周囲の人が加入しているから」の回答の比率について、「30歳代以下」は約56%と、他世代の回答者と比べてその割合が高いことがわかった。
- ・「地域の人との交流の機会を持ちたいから」の回答の比率は、年代が上がるほど、その割合が高くなり、中でも「70歳以上」は約57%とその割合が最も高いことがわかった。

自治会加入理由	30歳代以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
地域の住みよい環境を守りたいから	6	14.6%	10	22.7%	15	40.5%	21	48.8%	43	44.8%	95	36.4%
地域の人との交流の機会を持ちたいから	10	24.4%	16	36.4%	16	43.2%	22	51.2%	55	57.3%	119	45.6%
地域のイベントに参加したいから	6	14.6%	5	11.4%	8	21.6%	11	25.6%	16	16.7%	46	17.6%
災害時に加入していないと不安だから	9	22.0%	14	31.8%	15	40.5%	14	32.6%	40	41.7%	92	35.2%
古紙回収などの必要があるから	9	22.0%	5	11.4%	2	5.4%	10	23.3%	27	28.1%	53	20.3%
役場からの情報を知りたいから	6	14.6%	7	15.9%	10	27.0%	11	25.6%	40	41.7%	74	28.4%
周囲の人が加入しているから	23	56.1%	17	38.6%	14	37.8%	20	46.5%	21	21.9%	95	36.4%
その他	12	29.3%	14	31.8%	8	21.6%	7	16.3%	15	15.6%	56	21.5%
回答者(自治会加入者)	41		44		37		43		96		261	

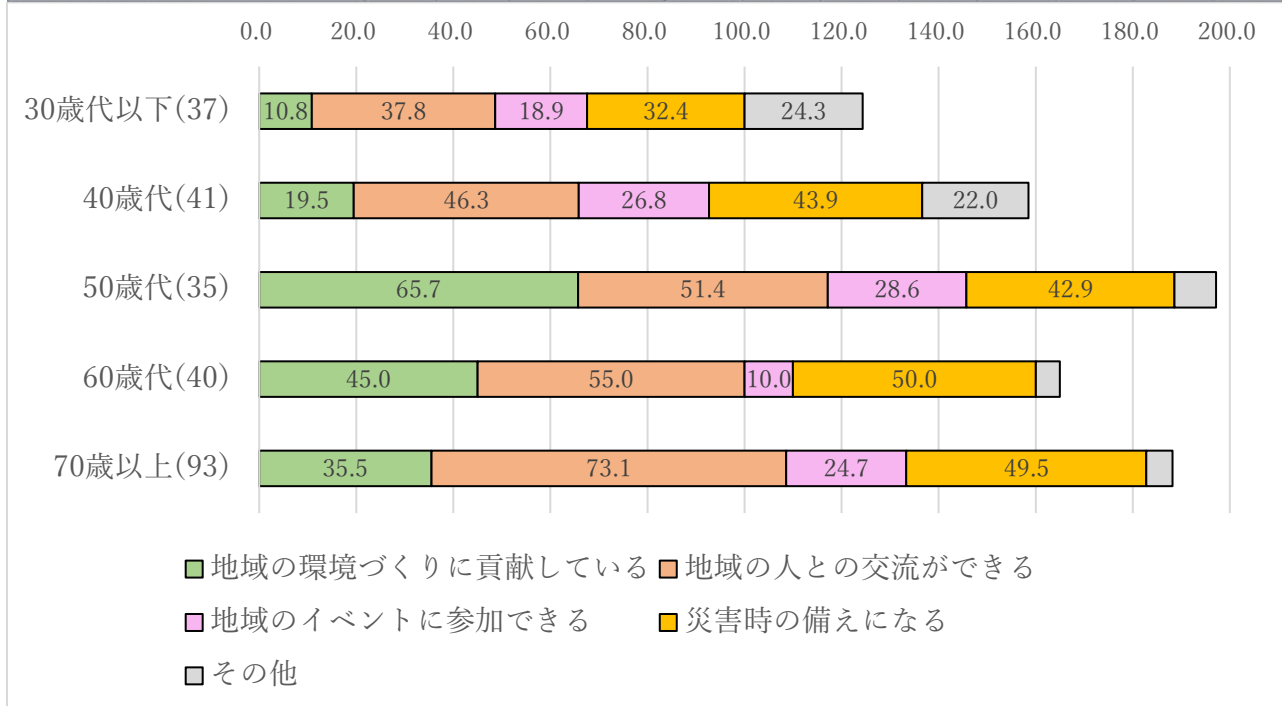


※ 表側の () はその年代の回答者数 自治会加入者のうち無回答・不明 (21人) 除く
 図中の数字は各年代の回答者に占める割合 (%)

⑧「自治会に対して満足している点(問 15)【複数回答】」

- ・「50 歳代」について、「地域の環境づくりに貢献している」が約 66%と他世代に対して高い傾向があることがわかった。
- ・「70 歳以上」について「地域の人との交流ができる」が約 73%と、他世代に対して高い傾向がある一方で、「30 歳代以下」では、その割合が約 38%と他世代に対して低い傾向があることがわかった。

自治会満足理由	30歳代以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
地域の環境づくりに貢献している	4	10.8%	8	19.5%	23	65.7%	18	45.0%	33	35.5%	86	35.0%
地域の人との交流ができる	14	37.8%	19	46.3%	18	51.4%	22	55.0%	68	73.1%	141	57.3%
地域のイベントに参加できる	7	18.9%	11	26.8%	10	28.6%	4	10.0%	23	24.7%	55	22.4%
災害時の備えになる	12	32.4%	18	43.9%	15	42.9%	20	50.0%	46	49.5%	111	45.1%
その他	9	24.3%	9	22.0%	3	8.6%	2	5.0%	5	5.4%	28	11.4%
回答者(自治会加入者)	37		41		35		40		93		246	

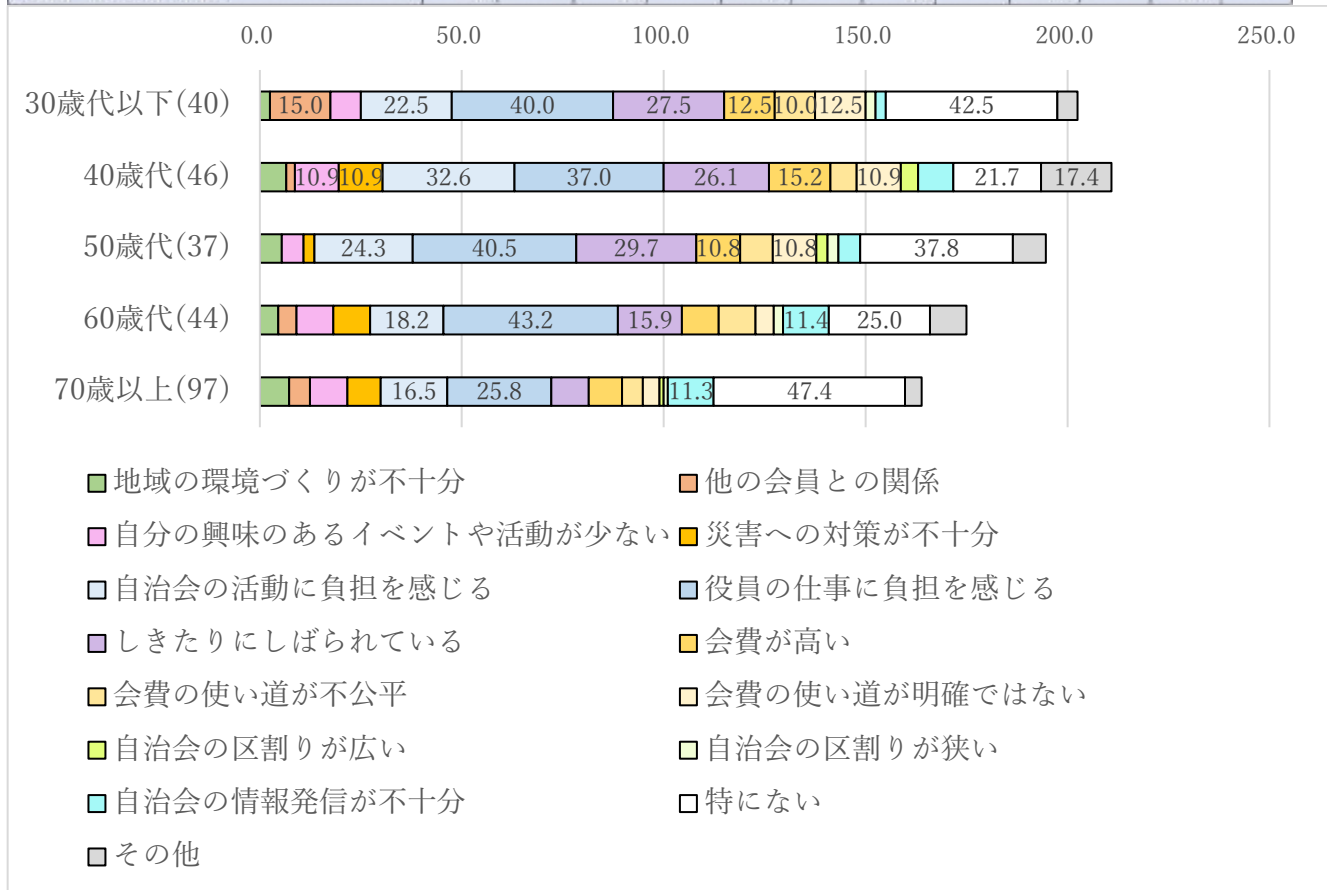


※ 表側の () はその年代の回答者数 自治会加入者のうち無回答・不明(36人)除く。
 図中の数字は各年代の回答者に占める割合(%)

⑨「自治会に対して不満を感じている点(問 16)【複数回答】」

・「30歳代以下」について、「役員の仕事に負担を感じる」の回答の比率が約80%と他世代と比較して高い傾向があることがわかった。

自治会不満理由	30歳代以下		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
地域の環境づくりが不十分	1	5.0%	3	6.5%	2	5.4%	2	4.5%	7	7.2%	15	5.7%
他の会員との関係	6	30.0%	1	2.2%	0	0.0%	2	4.5%	5	5.2%	14	5.3%
自分の興味のあるイベントや活動が少ない	3	15.0%	5	10.9%	2	5.4%	4	9.1%	9	9.3%	23	8.7%
災害への対策が不十分	0	0.0%	5	10.9%	1	2.7%	4	9.1%	8	8.2%	18	6.8%
自治会の活動に負担を感じる	9	45.0%	15	32.6%	9	24.3%	8	18.2%	16	16.5%	57	21.6%
役員の仕事に負担を感じる	16	80.0%	17	37.0%	15	40.5%	19	43.2%	25	25.8%	92	34.8%
しきたりにしぼられている	11	55.0%	12	26.1%	11	29.7%	7	15.9%	9	9.3%	50	18.9%
会費が高い	5	25.0%	7	15.2%	4	10.8%	4	9.1%	8	8.2%	28	10.6%
会費の使い道が不公平	4	20.0%	3	6.5%	3	8.1%	4	9.1%	5	5.2%	19	7.2%
会費の使い道が明確ではない	5	25.0%	5	10.9%	4	10.8%	2	4.5%	4	4.1%	20	7.6%
自治会の区割りが広い	0	0.0%	2	4.3%	1	2.7%	0	0.0%	1	1.0%	4	1.5%
自治会の区割りが狭い	1	5.0%	0	0.0%	1	2.7%	1	2.3%	1	1.0%	4	1.5%
自治会の情報発信が不十分	1	5.0%	4	8.7%	2	5.4%	5	11.4%	11	11.3%	23	8.7%
特にない	17	85.0%	10	21.7%	14	37.8%	11	25.0%	46	47.4%	98	37.1%
その他	2	10.0%	8	17.4%	3	8.1%	4	9.1%	4	4.1%	21	8.0%
回答者(自治会加入者)	40		46		37		44		97		264	



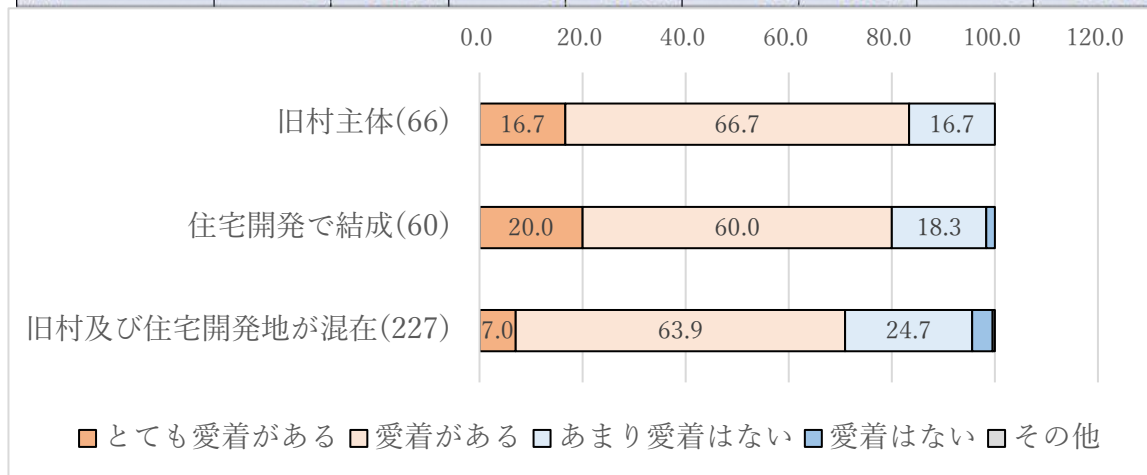
※ 表側の () はその年代の回答者数 自治会加入者のうち無回答・不明(18人)除く。
 図中の数字は各年代の回答者に占める割合(%)

(2)「居住地(問3)」のクロス集計の結果

①「居住地への愛着(問22)」

- ・「居住地への愛着」について、「旧村主体」「住宅開発で結成」「旧村及び住宅開発地が混在」の3地域別で回答の比率に大きな差がないことがわかった。

地域への愛着	旧村主体		住宅開発で結成		旧村及び住宅開発地が混在		総計	
とても愛着がある	11	16.7%	12	20.0%	16	7.0%	39	11.0%
愛着がある	44	66.7%	36	60.0%	145	63.9%	225	63.7%
あまり愛着はない	11	16.7%	11	18.3%	56	24.7%	78	22.1%
愛着はない	0	0.0%	1	1.7%	9	4.0%	10	2.8%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.3%
総計	66	100.0%	60	100.0%	227	100.0%	353	100.0%

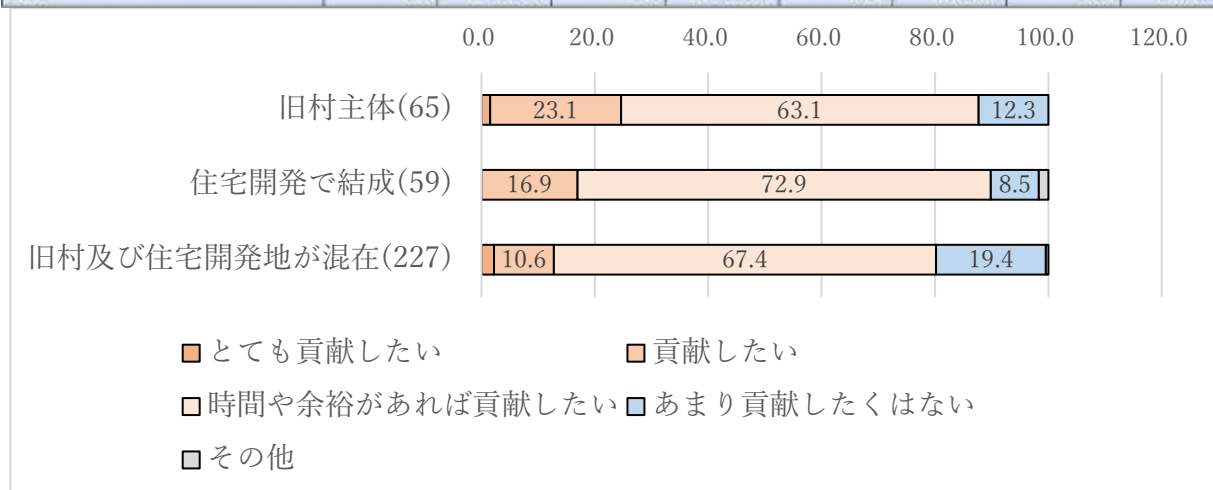


※ 表側の () はその選択肢の回答者数無回答・不明 (17人) 除く。

②「地域への貢献意志の有無・程度(問23)」

- ・「地域への貢献意志の有無・程度」について、「旧村主体」「住宅開発で結成」「旧村及び住宅開発地が混在」の3地域別で回答の比率に大きな差がないことがわかった。

地域への貢献意志の有無・程度	旧村主体		住宅開発で結成		旧村及び住宅開発地が混在		総計	
とても貢献したい	1	1.5%	0	0.0%	5	2.2%	6	1.7%
貢献したい	15	23.1%	10	16.9%	24	10.6%	49	14.0%
時間や余裕があれば貢献したい	41	63.1%	43	72.9%	153	67.4%	237	67.5%
あまり貢献したくない	8	12.3%	5	8.5%	44	19.4%	57	16.2%
その他	0	0.0%	1	1.7%	1	0.4%	2	0.6%
総計	65	100.0%	59	100.0%	227	100.0%	351	100.0%

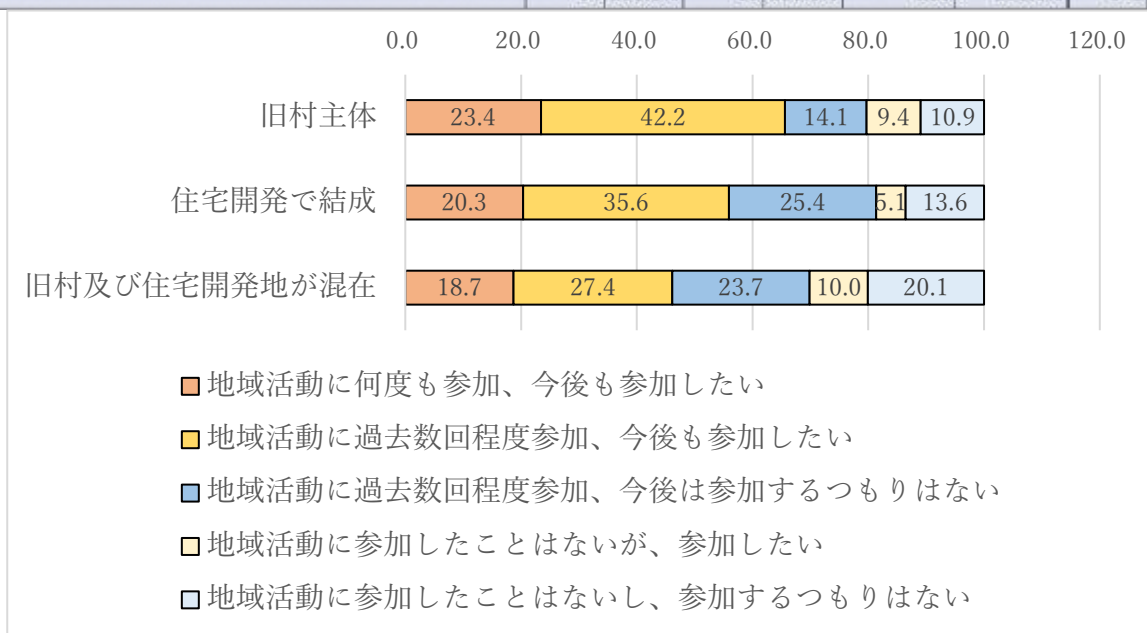


※ 表側の () はその選択肢の回答者数 無回答・不明 (19人) 除く。

③「地域活動への参加状況（問 24）」

- ・「地域活動への参加状況」について、「旧村主体」では「地域活動に何度も参加、今後も参加したい」及び「地域活動に過去数回程度参加、今後も参加したい」の回答比率が併せて約 66%であるのに対して、「旧村及び住宅開発地が混在」では約 46%となっており、旧村主体における地域活動への参加状況が高い傾向があることがわかった。

地域活動への参加状況	旧村主体		住宅開発で結成		旧村及び住宅開発地が混在		総計	
地域活動に何度も参加、今後も参加したい	15	23.4%	12	20.3%	41	18.7%	68	19.9%
地域活動に過去数回程度参加、今後も参加したい	27	42.2%	21	35.6%	60	27.4%	108	31.6%
地域活動に過去数回程度参加、今後は参加するつもりはない	9	14.1%	15	25.4%	52	23.7%	76	22.2%
地域活動に参加したことはないが、参加したい	6	9.4%	3	5.1%	22	10.0%	31	9.1%
地域活動に参加したことはないし、参加するつもりはない	7	10.9%	8	13.6%	44	20.1%	59	17.3%
総計	64	100.0%	59	100.0%	219	100.0%	342	100.0%



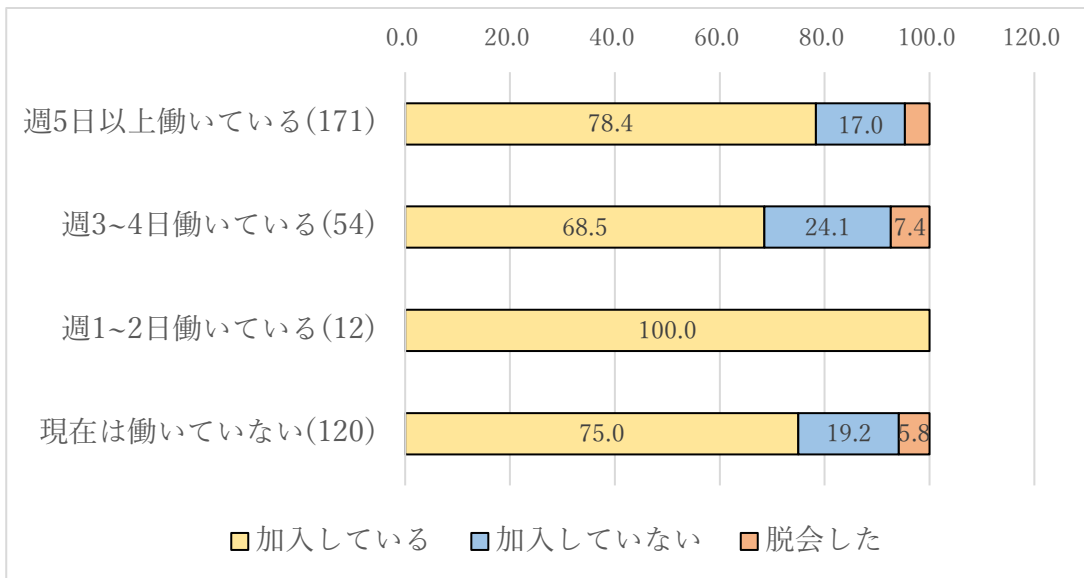
※ 表側の（ ）はその選択肢の回答者数 無回答・不明（28人）除く。

(3)「勤務(学業等)日数(問 4)」のクロス集計の結果

①「世帯の自治会への加入状況(問 7)」

- ・自治会加入の有無における「加入している」の回答を勤務(学業等)日数別に見ると、「週1~2日」が100%と最も高く、次いで「週5日以上」の78.4%、「現在は働いていない」の75%、「週3~4日」の68.5%となっており、勤務日数の多さが自治会加入率の低下につながっていないことがわかった。

自治会加入の有無	週5日以上働いている		週3~4日働いている		週1~2日働いている		現在は働いていない		総計	
加入している	134	78.4%	37	68.5%	12	100.0%	90	75.0%	273	76.3%
加入していない	29	17.0%	13	24.1%	0	0.0%	23	19.2%	66	18.4%
脱会した	8	4.7%	4	7.4%	0	0.0%	7	5.8%	19	5.3%
総計	171	100.0%	54	100.0%	12	100.0%	120	100.0%	358	100.0%



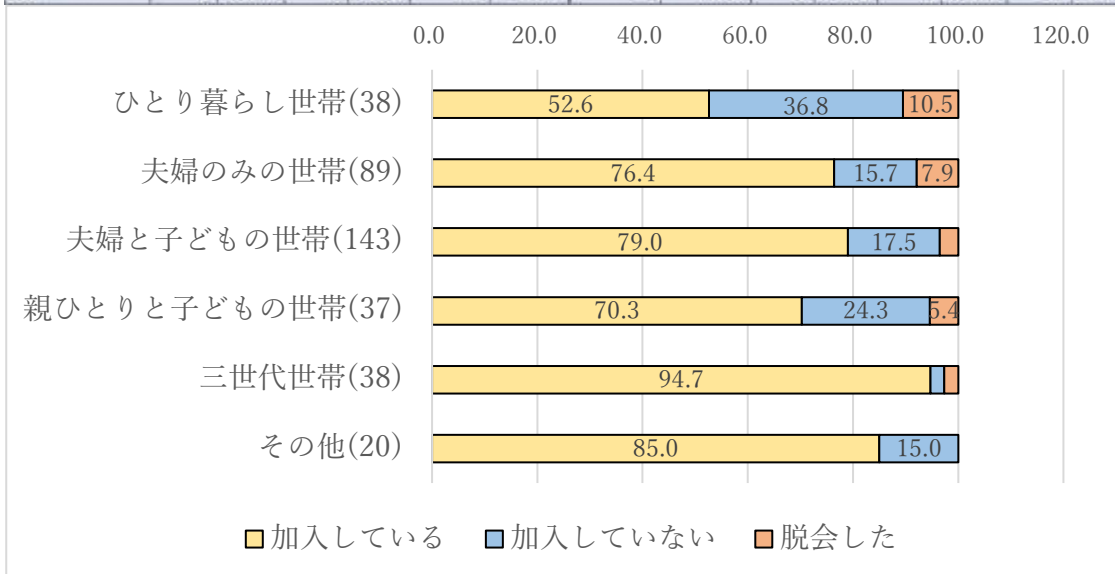
※ 表側の () はその選択肢の回答者数 無回答・不明 (12人) 除く。

(4)「世帯構成(問5)」のクロス集計の結果

①「世帯の自治会への加入状況(問7)」

- ・自治会加入の有無における「加入している」の回答を世帯構成で見ると、「三世代世帯」が94.7%と最も高く、次いで「その他」が85.0%、「夫婦と子どもの世帯」が79%と続き、「ひとり暮らし世帯」が52.6%と最も低いことがわかった。
- ・「その他」の回答には、4世代世帯や、夫婦双方の両親が暮らす世帯、入籍していないパートナーの両親との3世代世帯があることから、自治会加入率が世帯人員数に連動する傾向があることが考えられる。

自治会加入の有無	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子どもの世帯	親ひとりと子供の世帯	三世代世帯	その他	総計
加入している	20 52.6%	68 76.4%	113 79.0%	26 70.3%	36 94.7%	17 85.0%	280 76.7%
加入していない	14 36.8%	14 15.7%	25 17.5%	9 24.3%	1 2.6%	3 15.0%	66 18.1%
脱会した	4 10.5%	7 7.9%	5 3.5%	2 5.4%	1 2.6%	0 0.0%	19 5.2%
総計	38 100.0%	89 100.0%	143 100.0%	37 100.0%	38 100.0%	20 100.0%	365 100.0%

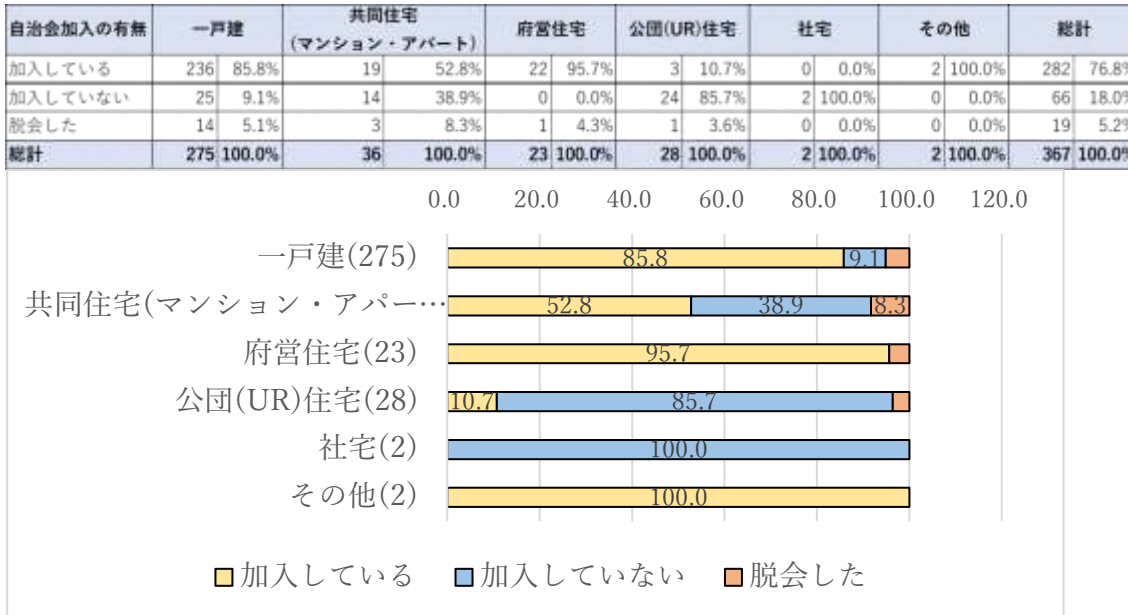


※ 表側の () はその選択肢の回答者数 無回答・不明 (5人) 除く。

(5)「住居の種類(問 6-1)」のクロス集計の結果

①「世帯の自治会への加入状況(問 7)」

- ・自治会加入の有無における「加入している」の回答を「住居の種類」別に見ると、「その他(いずれもお寺)」が100%と最も高く、次いで「府営住宅」が95.7%、「一戸建」の85.8%、「共同住宅」の52.8%となっている。
- ・「社宅」が0%と最も低く、「共同住宅」が次いで52.8%と低くなっており、後述する(6)「住居の居住年数」と「自治会加入の有無」のクロス集計結果で住居年数の長さに自治会加入率が連動していることからすると、これら住居の種類は、転出入の頻度が高く住居年数が短いのが要因になっている可能性が考えられる。

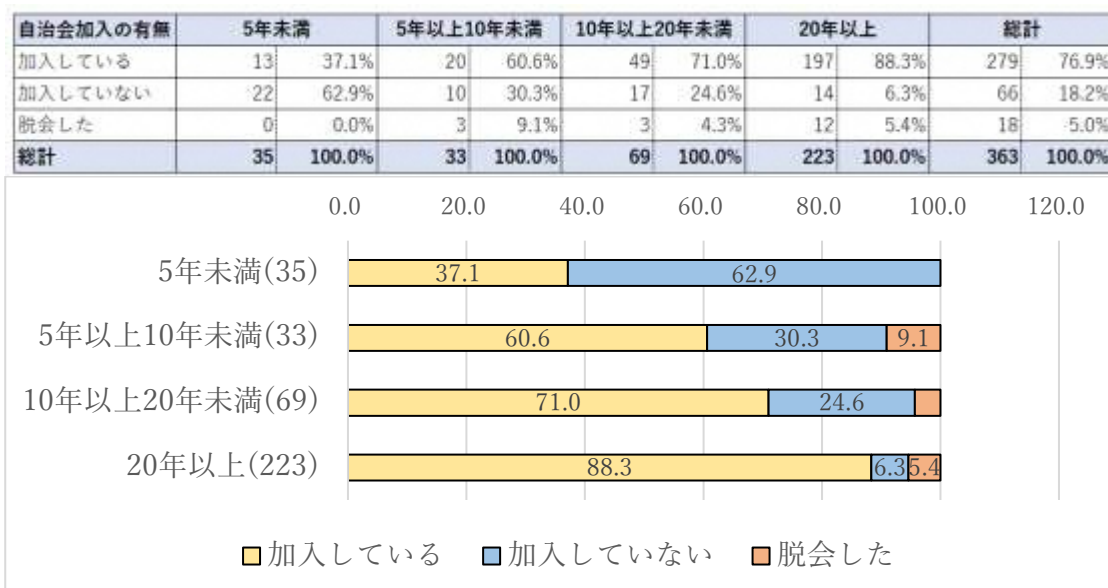


※ 表側の () はその選択肢の回答者数 無回答・不明(3人)除く。

(6)「住居の居住年数(問 6-2)」のクロス集計の結果

①「世帯の自治会への加入状況(問 7)」

- ・自治会加入の有無における「加入している」の回答を「住居の居住年数」で見ると、居住年数の長さとして自治会加入率が連動していることがわかった。



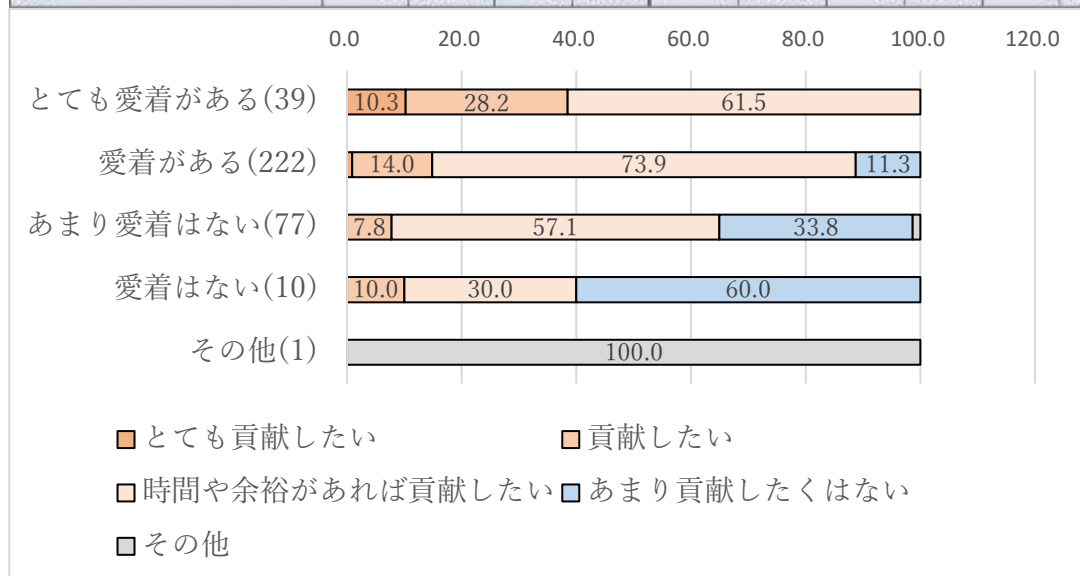
※ 表側の () はその選択肢の回答者数 無回答・不明(7人)除く。

(7)「居住地域への愛着(問 22)」のクロス集計の結果

①「地域への貢献意志の有無・程度(問 23)」

- ・「地域への貢献意志の有無・程度」における各回答を「居住地域への愛着」で見ると、「とても愛着がある」が「とても貢献したい」10.3%、「貢献したい」28.2%、「時間や余裕があれば貢献したい」61.5%と最も高く、続いて「愛着がある」「あまり愛着はない」「愛着はない」となっており、地域への愛着が高いほど、地域への貢献意志が高い傾向があることがわかった。

地域への貢献意志の有無・程度	とても愛着がある		愛着がある		あまり愛着はない		愛着はない		その他		総計	
とても貢献したい	4	10.3%	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	1.7%
貢献したい	11	28.2%	31	14.0%	6	7.8%	1	10.0%	0	0.0%	49	14.0%
時間や余裕があれば貢献したい	24	61.5%	164	73.9%	44	57.1%	3	30.0%	0	0.0%	235	67.3%
あまり貢献したくない	0	0.0%	25	11.3%	26	33.8%	6	60.0%	0	0.0%	57	16.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	100.0%	2	0.6%
総計	39	100.0%	222	100.0%	77	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	349	100.0%

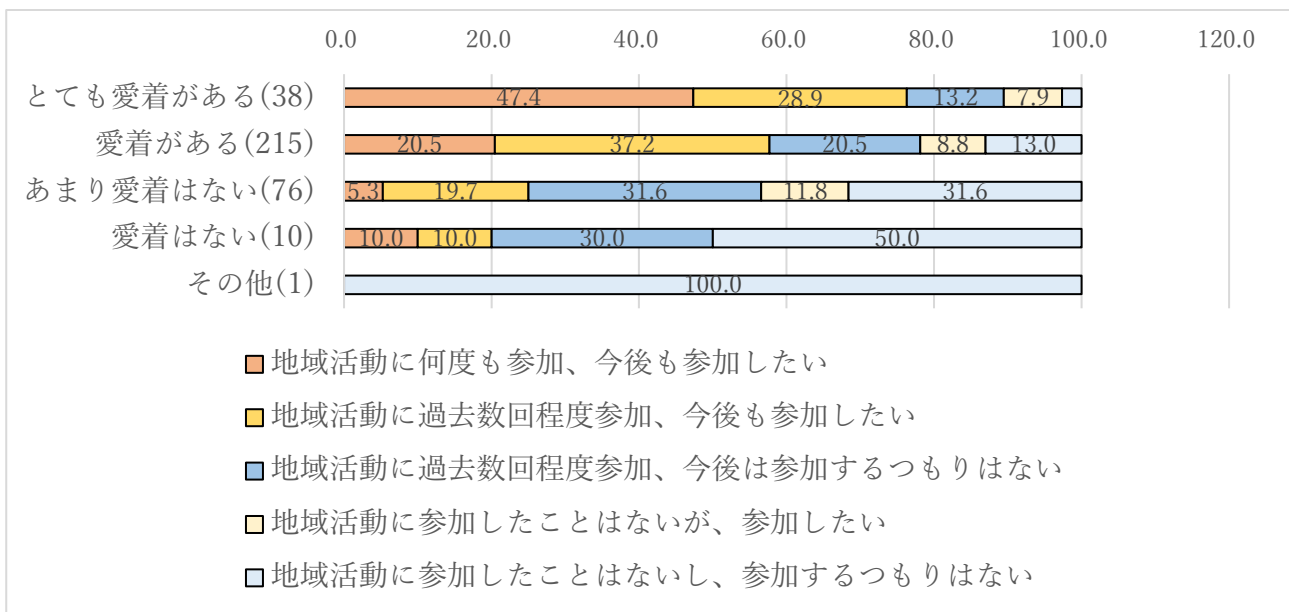


※ 表側の () はその選択肢の回答者数 無回答・不明 (21人) 除く。

②「地域活動への参加状況(問 24)」

- ・「地域活動への参加状況」における各回答を「居住地域への愛着」で見ると、「とても愛着がある」が「何度も参加、今後も参加したい」47.4%、「過去数回程度参加、今後も参加したい」28.9%と最も高く、続いて「愛着がある」「あまり愛着はない」「愛着はない」となっており、地域への愛着が高いほど、地域活動への参加状況と参加意志が高い傾向があることがわかった。

地域活動への参加状況	とても愛着がある		愛着がある		あまり愛着はない		愛着はない		その他		総計	
地域活動に何度も参加、今後も参加したい	18	47.4%	44	20.5%	4	5.3%	1	10.0%	0	0.0%	67	19.7%
地域活動に過去数回程度参加、今後も参加したい	11	28.9%	80	37.2%	15	19.7%	1	10.0%	0	0.0%	107	31.5%
地域活動に過去数回程度参加、今後は参加するつもりはない	5	13.2%	44	20.5%	24	31.6%	3	30.0%	0	0.0%	76	22.4%
地域活動に参加したことはないが、参加したい	3	7.9%	19	8.8%	9	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	31	9.1%
地域に参加したことはないし、参加するつもりはない	1	2.6%	28	13.0%	24	31.6%	5	50.0%	1	100.0%	59	17.4%
総計	38	100.0%	215	100.0%	76	100.0%	10	100.0%	1	100.0%	340	100.0%



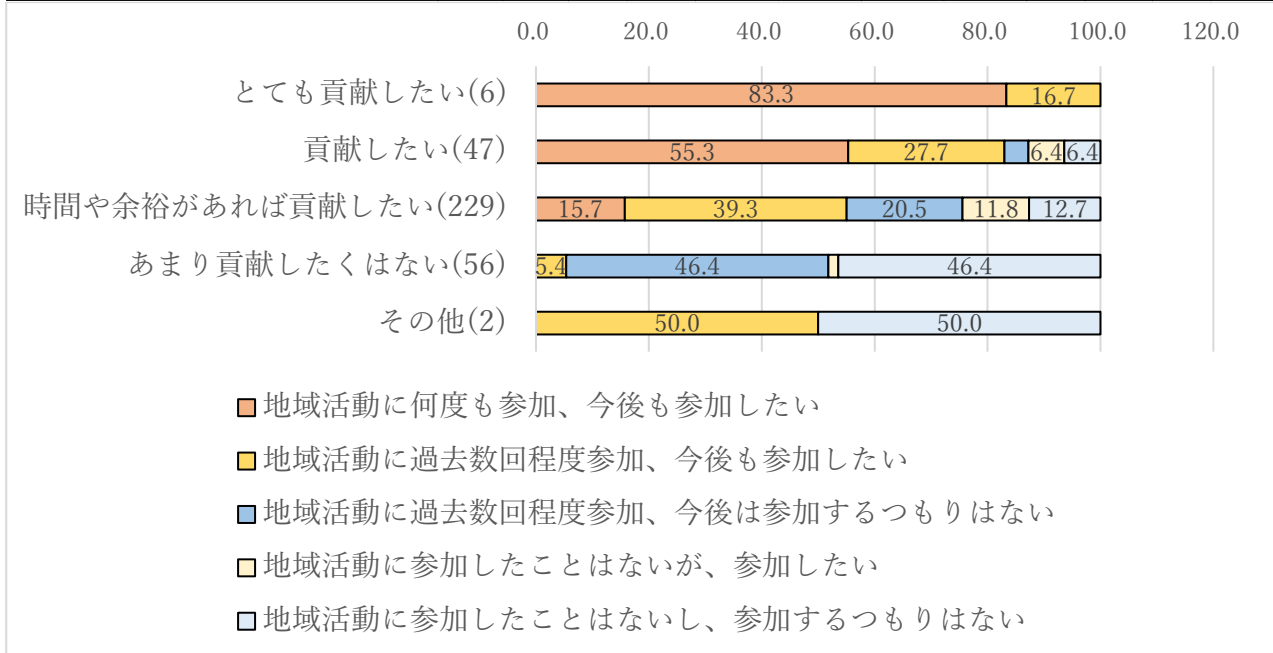
※ 表側の () はその選択肢の回答者数 無回答・不明 (30人) 除く。

(8)「地域への貢献意志の有無・程度(問 23)」のクロス集計の結果

①「地域活動への参加状況(問 24)」

・「地域活動への参加状況」における各回答を「地域への貢献意志の有無・程度」で見ると、「とても貢献したい」が「何度も参加、今後も参加したい」83.3%、「過去数回程度参加、今後も参加したい」16.7%と最も高く、続いて「貢献したい」「時間と余裕があれば貢献したい」「あまり貢献したいとは思わない」となっており、地域への貢献意志の有無・程度が高いほど、地域活動への参加状況と参加意志が高い傾向にあることがわかった。

地域活動への参加状況	とても貢献したい	貢献したい	時間や余裕があれば貢献したい	あまり貢献したいとは思わない	その他	総計
地域活動に何度も参加、今後も参加したい	5 83.3%	26 55.3%	36 15.7%	0 0.0%	0 0.0%	67 19.7%
地域活動に過去数回程度参加、今後も参加したい	1 16.7%	13 27.7%	90 39.3%	3 5.4%	1 50.0%	108 31.8%
地域活動に過去数回程度参加、今後は参加するつもりはない	0 0.0%	2 4.3%	47 20.5%	26 46.4%	0 0.0%	75 22.1%
地域活動に参加したことはないが、参加したい	0 0.0%	3 6.4%	27 11.8%	1 1.8%	0 0.0%	31 9.1%
地域に参加したことはないし、参加するつもりはない	0 0.0%	3 6.4%	29 12.7%	26 46.4%	1 50.0%	59 17.4%
総計	6 100.0%	47 100.0%	229 100.0%	56 100.0%	2 100.0%	340 100.0%



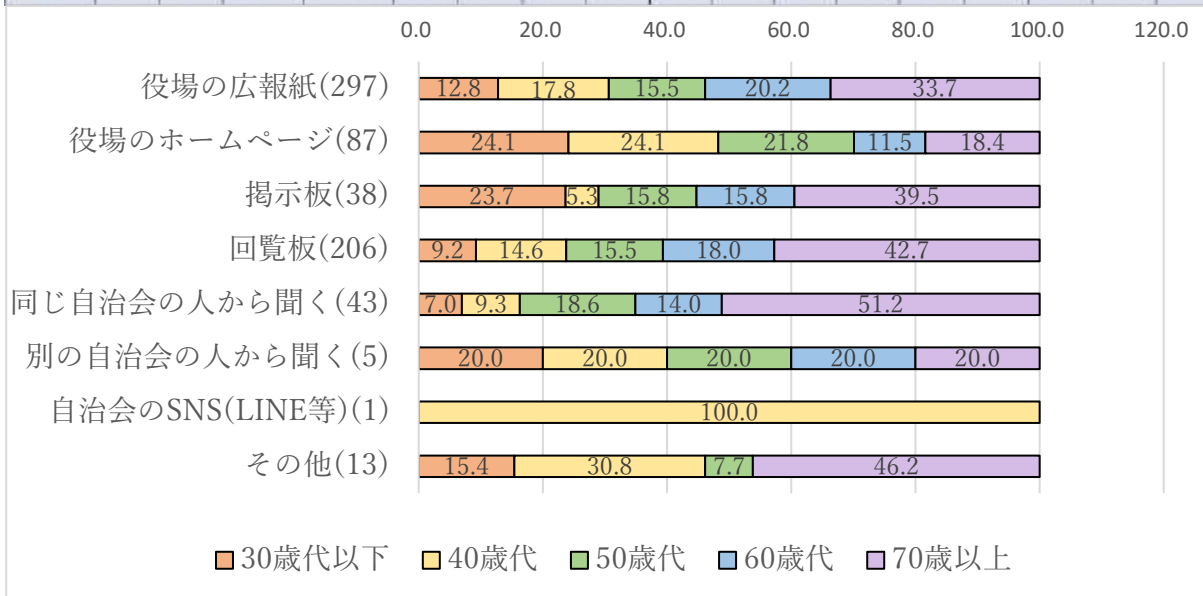
※ 表側の () はその選択肢の回答者数 無回答・不明 (30人) 除く。

(9)「情報の入手手段(問 25)」のクロス集計の結果

①「年齢(問 1)」

- ・「情報の入手手段」の各回答を「年齢別」に見ると、デジタル媒体である「役場のホームページ」を回答したのは「30歳代以下」「40歳代」がともに24.1%と最も高いのに対して、アナログ媒体である「回覧板」「同じ自治会の人から聞く」を回答したのは「70歳代」が42.7%・51.2%と最も高くなっており、年齢別に情報の入手手段の傾向に差があることがわかった。
- ・なお、アナログ媒体であるはずの「掲示板」の回答では、「30歳代以下」が23.7%と「70歳代」の39.5%に次いで高く、若年層のアナログ活用度が高いように見えるが、掲示板サイトなどと取り違えて回答している可能性があることに留意する必要がある。
- ・また、デジタル媒体である「役場のホームページ」の回答では、「70歳代」が18.4%と「60歳代」の11.5%を逆転する現象が見られた。定年退職後の余暇を活用してPCやスマートフォンなどの活用を始めた高齢世代が存在する可能性があることにも留意する必要がある。

年齢	役場の広報紙		役場のホームページ		掲示板		回覧板		同じ自治会の人から聞く		別の自治会の人から聞く		自治会のSNS(LINE等)		その他		総計	
30歳代以下	38	12.8%	21	24.1%	9	23.7%	19	9.2%	3	7.0%	1	20.0%	0	0.0%	2	15.4%	59	16.5%
40歳代	53	17.8%	21	24.1%	2	5.3%	30	14.6%	4	9.3%	1	20.0%	1	100.0%	4	30.8%	62	17.4%
50歳代	46	15.5%	19	21.8%	6	15.8%	32	15.5%	8	18.6%	1	20.0%	0	0.0%	1	7.7%	55	15.4%
60歳代	60	20.2%	10	11.5%	6	15.8%	37	18.0%	6	14.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	64	17.9%
70歳代	100	33.7%	16	18.4%	15	39.5%	88	42.7%	22	51.2%	1	20.0%	0	0.0%	6	46.2%	117	32.8%
総計	297	100.0%	87	100.0%	38	100.0%	206	100.0%	43	100.0%	5	100.0%	1	100.0%	13	100.0%	357	100.0%



※ 表側の () はその選択肢の回答者数 無回答・不明 (13人) 除く。

図中の数字は各選択肢の回答者数に占める割合 (%)

4. まとめ

(1)回答者の属性

- ・性別について、女性の回答者が約6割と男性よりも多い。
- ・居住地域について、佐山地区など「旧村及び住宅開発地が混在」している地域からの回答が最も多いが、地区別人口比率に応じた回答割合である。
- ・勤務(学業等)日数について、「週5日以上働いている」が全体の約半分と最も多い。
- ・世帯構成について、「夫婦と子どもの世帯」が約39%と最も多い。
- ・住居の種類について、「一戸建」が約75%と最も多い。
- ・居住年数について、「20年以上久御山町に住んでいる」が約6割と最も多い。

(2)自治会への加入について

- ・未加入者が加入しない理由として、「住んでいる地域に自治会があるかどうか知らないから」が約37%と最も多く、脱会者が脱会した理由として、「加入にメリットを感じないから」が約42%で最も高い。
- ・未加入者及び脱会者がどのような自治会であれば加入したいと思うかについて、「役員の負担が少ない自治会」が約半分と最も高い。
- ・未加入者及び脱会者において、活動の意義等が具体的にわかるもの(自治会活動を紹介するリーフレット、自治会のホームページ)は「参考になる」が約55%と最も多い。また、記載されていたら興味を持つ内容について「自治会の活動例の紹介」が約66%と最も高い。
- ・自治会加入者が加入する理由について「地域の人との交流の機会を持ちたいから」が約46%で最も高い。年代が上がるほど、その割合が高くなり、中でも「70歳以上」は約57%とその割合が最も高い。一方で、「周囲の人が加入しているから」の回答の比率について、「30歳代以下」は約56%と、他世代の回答者と比べてその割合が高い。

<考察>

- ・自治会活動やメリットなどの情報発信は重要であり、そのための施策としてリーフレットやホームページでの周知は一定効果があると考えられる。
- ・「自治会活動の負担軽減」が自治会加入率の低下を食い止めるために必要であり、合理的な自治会運営が求められる。
- ・メリット・デメリットで自治会加入を考える人が多く、自治会の負担感を上回るメリットを自治会に感じる人が加入していると推測できる。
- ・30歳代以下の若い世代は「周囲の人が加入しているから」と消極的な理由で加入している場合が多く、若い世代は複数世帯がほぼ同時期にまとまって脱会する可能性も考えられる。

(3) 自治会に対する意識について

- ・加入者にとって自治会の満足度は、「とても満足している」「満足している」が約 52%と過半数を超える一方で、「あまり満足していない」「満足していない」は併せて約 11%に止まっている。
- ・満足している点として「地域の人との交流ができる」が約 57%と最も高い。なお、「70 歳以上」の回答の比率が約 73%と他世代に対して高い傾向がある一方で、「30 歳代以下」の回答の比率が約 38%と他世代に対して低い傾向がある。
- ・不満に感じている点は、「特にない」が約 37%と最も高く、「役員の仕事に負担を感じる」が約 35%と次に高くなっている。なお、「30 歳代以下」の回答の比率が約 80%と他世代と比較して高い傾向がある。
- ・不満を解消するためには「しきたりにとらわれず、合理的な自治会運営を行う」が約 46%と最も高い。

<考察>

- ・自治会加入者にとって、自治会の満足度は高く、特に 70 歳以上の高齢世代は地域交流の満足度が高い。
- ・「しきたりにとらわれず、合理的な自治会運営を行う」必要性は、全世代の共通課題として挙げられている。

(4) 自治会への参加経験について

- ・「人とのつながりの大切さを感じた」と考える役員経験者が約 44%と最も多い一方で、「役員のなり手がいない、又は少ない」が約 42%、「役員の仕事の量が多かった」が約 37%と多くなっている。
- ・役員経験がない理由として「依頼されたことがないため」が約 59%と最も多い。

<考察>

- ・自治会役員への就任を負担と感じる人も多い一方で、「人とのつながりの大切さを感じた」と考える人も多い。
- ・役員経験がない理由として「依頼されたことがないため」と回答する方も多く、地域に役員の担い手候補が一定存在している可能性も考えられる。

(5) 地域活動への参加状況等について

- ・「とても愛着がある」「愛着がある」は併せて約 75%と非常に多い一方で、「あまり愛着はない」「愛着はない」とする回答者は併せて約 25%となっている。なお、「とても愛着がある」「愛着がある」の回答の比率について、「30 歳代以下」が約 66%、「40 歳代」が約 68%と、全体の約 74%に対して相対的に低くなっている一方で、「あまり愛着はない」「愛着はない」の回答の比率について、「30 歳代以下」が約 33%、「40 歳代」が約 30%と、全体の約 25%に対して相対的に高いことから、年齢層が若いほど居住地域への愛着が薄い傾向がある。
- ・「時間や余裕があれば貢献したい」が約 68%と最も高く、「とても貢献したい」の約 2%、「貢献したい」の約 14%と併せて約 84%が地域貢献に意欲を持っていることがわかった。なお、「50 歳代」について、「あまり貢献したくない」の回答の比率が約 9%と最も低い一方で、「貢献したい」「時間や余裕があれば貢献したい」が約 89%と最も高く、地域貢献の意向が強い一方で、

「50 歳代」は、「30 歳代以下」とともに、「時間や余裕があれば貢献したい」の回答の比率が高く、地域貢献の意向はあるが、制約条件がある方が多いこともわかった。

- ・「地域活動に何度も参加しており、今後も参加したい」「地域活動に過去数回程度参加したことがあり、今後も参加したい」「地域活動に参加したことはないが、参加したい」が併せて約 60%と半数を超える一方で、「地域活動に過去数回程度参加したことがあるが、今後は参加するつもりはない」「地域活動に参加したことはないし、参加するつもりはない」が併せて約 40%となっている。
- ・「30 歳代以下」について、「地域活動に何度も参加、今後も参加したい」の回答の比率が約 7%と、他世代と比較して低い傾向がある。また、「70 歳代」について、「地域活動に過去数回程度参加したことがあるが、今後は参加するつもりはない」の回答の比率が約 35%と、他世代と比較して高い傾向がある。「地域活動に参加したことはないし、参加するつもりはない」の回答の比率については、「40 歳代」が約 29%、「30 歳代以下」が約 25%と、その他の世代と比較して高い傾向がある。
- ・「地域活動への参加状況」について、「旧村主体」では「地域活動に何度も参加、今後も参加したい」及び「地域活動に過去数回程度参加、今後も参加したい」の回答比率が併せて約 66%であるのに対して、「旧村及び住宅開発地が混在」では約 46%となっており、旧村主体における地域活動への参加状況が高い傾向がある。

<考察>

- ・70 歳以上の高齢者は、地域への愛着が強い一方で、高齢を理由に自治会活動に参加しない方が多いことが推測される。
- ・50 歳代は地域貢献の意向が強い一方で、仕事の都合で時間的制約が強いことが考えられる。

(6)地域の情報の入手・発信手段について

- ・デジタル化・オンライン化を望む内容について、「特になし」が約 43%と最も高い。なお、「60 歳代」及び「70 歳以上」について、「特になし」が半数を超えて最も多く、高齢者層にデジタル化及びオンライン化への関心が低い傾向がある。一方、デジタル化やオンライン化への関心が高いと思われる「30 歳代以下」でも、「特になし」が約 42%と最も高い。
- ・デジタル化及びオンライン化を望むものとしては、「防災情報」及び「防犯情報」が他の選択肢と比較して高い傾向がある。
- ・自治会や回覧板の電子化について「回覧板の負担が減って良いと思う」が約 36%で最も多く、電子化を肯定的に考える回答者が比較的存在する。特に「40 歳代」は、「回覧板の負担が減って良いと思う」が約 62%になるなど、他の年代の回答者に比べて、電子化に前向きである。
- ・一方で、「自治会として電子化に対応できる不安がある」が約 22%、「自分自身が電子化に対応できるか不安がある」が約 33%、「家族が電子化に対応できるか不安がある」が約 17%と電子化の導入に不安を覚える回答者も一定存在する。特に「70 歳以上」について、「自分自身が電子化に対応できるか不安」が約 64%と最も高く、自治体活動の電子化に対する不安が大きい。

<考察>

- ・電子化について、60 歳代以上の高齢者は関心が低く、不安を覚えている方が多い。一方で、次の役員の担い手となりうる 40 歳代は、電子化に前向きな姿勢が見える。

(7)その他

<考察>

- ・「自治会運営」に関連した「高齢化・担い手不足」の意見が多く寄せられており、自治会運営の見直しは切実な課題であることが分かった。

(8)総括

以上のアンケートの「まとめ」を総括し、アンケートで得られた重要なポイントを整理すると、以下のような8項目が重要なポイントとして挙げられる。もちろん、ここに挙げていない内容でも個別には重要な要素もあるので、詳細には本文全体を参照されたい。

① 満足度が低い自治会活動

自治会に加入している人の割合は全体で76.8%であった。しかし、その中で自治会活動に満足している人は51.8%しかなく、不満足は10.7%であるが、**満足でも不満足でもないという人の割合が37.5%ある**ということが問題を示唆しているように考えられる。すなわち、加入率は近所付き合いなどもあり、まずまず高い割合となっているが、近年この加入率も下降傾向にあるということもある。加入していてもメリットがない、魅力がない、役員などの負担が大きいなどの問題もあり、はっきり「満足」と言えないというところが問題かもしれない。もちろん、町内の中でも地域差もあるが、「どちらともいえない」人たちを放置しない工夫が必要である。

② 現状の自治会活動には多くの良い点もある

自治会に加入している人達の評価では、近所付き合いや地域の人たちとの交流ができることや、地域の環境をともに守っていけること、また災害時に地域との関係が重要、役場の情報の橋渡し役との意見もある、これらの利点をもっと周知・PRし、自治会活動の理解を広めていく必要がある。もちろん、その周知・PRの手法は、現代社会の動きにマッチした方法を考える必要がある。また、新たな自治会活動の展開を考えていく必要もあり、それらを地域の人たちが自らの問題としてとらえ、新たな展開の模索をしていくことも必要であろう。

③ 多くの課題解決の新しい方策が必要

おそらく①で素直に自治会活動に「満足できる」と回答できなかった人たち、「満足できる」と回答した人たちも、様々な自治会活動への課題意識が各所に見られる。例えば自治会に加入している人たちが回答している問16の回答を見ると、「役員の仕事に負担感」「自治会の仕事に負担感」「しきりに縛られている」等々の問題を多くの人たちが提起している。こうした課題をうまく解決していかないと、それらの人たちが自治会から離脱していく可能性もある。幸い、これらの問題に先進的に取り組んでいるところもあり、そうした方策を、地域の人たちが自発的に進められるような環境作りが必要であろう。

④ 地域における新たな情報入手・情報共有システムの必要性

地域に関わる様々な情報の入手については、これまで町役場からの広報紙や回覧板などの紙媒体から得ることが最も重要な手段であった。もちろん、最近はホームページなども活用されているが、ホームページだけでは、町民の側から積極的に取りにいかないと入手できないということもある。地域には色々な必要な地域情報がある。例えば、町役場からの広報紙はもちろんのこと、地域の学校関係の情報や、子供会の情報、高齢者などに対する見守り情報、福祉情報、さらには地域の生活関連情報や環境に関わる情報、そして町民の皆さんの多くの方々が望む防災情報等々、必要な情報が多数あるにも関わらず、現在はそれらがバラバラに地域に出ていく状況となっている。これ他の情報を、今後新たな方法・手段で町民に伝達することを検討すべきである。

⑤ 自治会活動のメリット・魅力創出

自治会に不満を持つ人や、自治会を退会してしまった人たちの多くは、自治会に入っていないでも生活できるとか、自治会に入っているメリット・魅力がないとか、いざと言うときに自治会が何をしてくれるのかというような意識を持っておられる方々が少なからずいる。自治会に何となく入っている人の中にもこのような意識を持つ人は少なからずおられると考えられる。それが冒頭で挙げた自治会には入っているが活動に「満足」と言えない人が半数近くいることにもつながっている。そうした中では、自治会の事業・イベント・事務等々を体系化し、担当者の負担を軽くしつつ、地域に取って魅力の多い自治会活動の展開を行っていくことが必要である。

⑥ 町役場の防災・防犯活動と自治会の活動の連動

アンケートの中で、非常に強く感じられたことが防災情報や防災への対応を自治会に大きく期待していることであった。いざ災害になった時に、地域の自治会が町役場と連携・役割分担しながら、一体何をすべきかを、平時のうちに検討しておく必要がある。また、単一の自治会だけでは対応しきれないことも多く、いくつかの自治会が連携して、災害対応への体制づくりを行っていく必要がある。

⑦ 自治会活動のデジタル化推進

アンケートの中でも電子回覧板や、自治会活動のデジタル化・オンライン化などを聞いていて、まだまだ自治会自体が対応できるか不安とか、自分自身が対応できるか不安というような意見も多くみられた。一方で、そうしたことを積極的に進めるべきという根強い意見もあった。これについては、他地域での大変良い先進事例などもあり、今後そうした地域の事例を学びながら、具体的な推進方策を地域で検討していく必要があるといえよう。

⑧ 自治会活動の見える化と連携等を進めるための情報システムの構築

④の情報共有システムにも関連するが、全自治会が参加して、各自治会の活動状況やスケジュールなどが見える「まちづくりコミュニティ情報サイト（仮称）」を設け、可能な範囲で各自治会の活動情報や、イベント情報などを共有できるサイト構築が必要である。アンケートでは、自治会が何を行っているかがわかっても、新規入会にはつながりにくいとの意見もあったが、一方で自治会の活動の内容が理解できるようになるとの評価もあった。こうした共有サイトがあることで、自治会同士による活動の連携を進めるきっかけづくりになっていく可能性もある。